

2 平成27年度大津市水道需要家意識調査報告書（抜粋）

報 告 書 目 次

I. 調査概要	20
II. 調査結果	22
1. ご回答者自身やご回答者の家庭について	22
問 1. あなたの性別はどちらですか。	22
問 2. あなたの年齢はどれにあてはまりますか。	22
問 3. あなたの居住地（学区）はどちらですか。	23
問 4. あなたのお住まいはどちらですか。	25
問 5. あなたのお住まいの築年数についておたずねします。なお、キッチン、お風呂、トイレなど水周りに関するリフォーム工事をされている場合は、最近のリフォーム工事後の年数でお答えください。	25
問 6. あなたを含む同居の家族は何人ですか。	26
問 7. 問 6 で 2 人以上と答えた方におたずねします。年代別にそれぞれ何人ですか。	26
2. 水道水の安全性とおいしさについて	27
問 8. あなたは水道水の安全性について、どう思いますか。	27
問 9. 問 8 で「3 どちらかと言えば不安である」、「4 不安である」と答えた方におたずねします。あなたが水道水に「不安」を感じる理由は何ですか。	29
問 10. あなたは水道水の味について、どう思いますか。	30
問 11. 問 10 で「3 どちらかと言えばまずい」、「4 まずい」と答えた方におたずねします。あなたが水道水を「まずい」と感じる理由は何ですか。	33
3. 水道水の利用状況について	37
問 12. あなたの家庭では普段、水をどのようにして飲んでいますか。	37
問 13. あなたの家庭では浄水器を使用していますか。	39
問 14. あなた（家族も含めます）は入浴をどれくらいの頻度でされますか。	39
問 15. あなた（家族も含めます）は洗濯をどれくらいの頻度でされますか。	40
4. 節水について	41
問 16. あなたは普段、節水について意識し、具体的な取り組みを行っていますか。	41
問 17. あなたの家庭で節水のためにお使いのものは何ですか。	44
5. 水道料金について	46
問 18. あなたは水道料金についてどう思いますか。	46

問 19. あなたは水道の 1 ヶ月使用量 10 m ³ まで同料金（定額）としていることについて、 どう思いますか。 ……………	49
問 20. 大津市では、使用量が増えるほど料金単価が上がる料金体系になっており、工場 など大量に水を使うところでは料金単価が高くなっています。このことについて、 あなたはどう思いますか。 ……………	50
6. お客様センターについて ……………	51
問 21. あなたは大津市企業局の「お客様センター」を利用したことがありますか。 ……………	51
問 22. 問 21 で「1 利用したことがある」と答えた方におたずねします。あなたはお客 様センターのサービスについてどのように感じられましたか。 ……………	52
問 23. 問 22 で「3 どちらかと言えば不満」、「4 不満」と答えた方におたずねします。 あなたが不満と感じられた理由は何ですか。 ……………	52
7. 今後の水道事業の経営と災害対策について ……………	53
問 24. あなたが今後の水道事業で特に力を入れてほしい（重要）と思うことは何ですか。 …	53
問 25. 企業局では、経費削減等の経営努力を行いながら、安全な水の供給や災害に強い 施設の整備を進めています。今後も、これらに取り組んでいきますが、整備に必 要な経費の負担について、あなたはどう思いますか。 ……………	55
問 26. あなたは、災害や事故などお客様に影響が及ぶ事案が発生した場合に、上下水道 やガス施設についての情報を携帯電話やスマートフォンにメール配信するサービ スがあることを知っていますか。 ……………	57
問 27. あなたの家庭では、日頃から大規模な災害時（風水害、震災等）に備えて「飲料 水」を確保していますか。 ……………	58
8. 広報活動について ……………	59
問 28. 水道事業の情報などをお知らせするもので、あなたが普段読んだり、見たりする ものはありますか。 ……………	59
問 29. あなたが今後水道事業について知りたいと思うことは何ですか。 ……………	61
9. 水道事業の総合評価について ……………	64
問 30. ここまで、水質、料金、お客様サービスなどについておたずねしてきましたが、 大津市の水道事業を総合的にみて、あなたはどう思いますか。 ……………	64

I. 調査概要

1. 目的

大津市が水道を供給している需要家の意識調査を行い、今後の水道の整備計画、経営計画等の策定のための参考資料にすることを目的とする。

2. 調査設計

今後の水道の整備計画、経営計画等の策定のための参考資料や基礎データとするための調査項目を設定し、時系列で水道需要家の意識の推移を把握するため、過去の水道需要家意識調査の調査項目も加えている。具体的な調査設計は以下のとおりである。

調査対象	平成 27 年 5 月 7 日現在、家庭用、口径 20 [㍉] 以下、開栓中の水道需要家
調査母集団	125,976 戸
抽出方法	無作為抽出
配布数	3,000 件
実施期間	平成 27 年 5 月 27 日（水）～6 月 10 日（水）
調査方法	郵送による配布・回収

3. 配布・回収状況

配布数	3,000 件
回収数	1,157 件
回収率	38.6%

4. 過去の水道需要家意識調査の概要

(1) 前回調査（平成 22 年度）

実施期間	平成 22 年 8 月 6 日（金）～22 日（日）
配布数	3,000 件
回収数	1,359 件
回収率	45.3%

(2) 前々回調査（平成 19 年度）

実施期間	平成 19 年 8 月 7 日（火）～22 日（水）
配布数	3,000 件
回収数	1,461 件
回収率	48.7%

5. 信頼区間の推定

本調査は標本調査であるので、標本抽出における誤差等を考慮する必要がある。通常、世論調査などでは、信頼度 95%（同一の調査を 100 回行えば 95 回まではこの結果になるであろうという推定）のレベルを求めるのが一般的である。誤差の近似値は次式で求められ、信頼区間は下表のようになる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{(N-n) \cdot P(100-P) / (N-1) \cdot n}$$

N：母集団数（125,976戸(H27)）、n：標本数（1,157）、P：測定値（%）

■信頼度 95%における主要な%の信頼区間（単位：%）

回答比率	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
誤差	±1.3	±1.7	±2.0	±2.3	±2.5	±2.6	±2.7	±2.8	±2.9	±2.9

<クロス集計時の主要な標本数別の信頼区間>

1000	±1.3	±1.9	±2.2	±2.5	±2.7	±2.8	±2.9	±3.0	±3.1	±3.1
500	±1.9	±2.6	±3.1	±3.5	±3.8	±4.0	±4.2	±4.3	±4.4	±4.4
250	±2.7	±3.7	±4.4	±5.0	±5.4	±5.7	±5.9	±6.1	±6.2	±6.2
100	±4.3	±5.9	±7.0	±7.8	±8.5	±9.0	±9.3	±9.6	±9.7	±9.8
50	±6.0	±8.3	±9.9	±11.1	±12.0	±12.7	±13.2	±13.6	±13.8	±13.9
25	±8.5	±11.8	±14.0	±15.7	±17.0	±18.0	±18.7	±19.2	±19.5	±19.6

- ・例えばある設問で、全体の回答が80%であった場合、80%±2.3%、つまり、真の値は77.7%から82.3%の間にあると推定してよい。その推定の信頼度は95%である。
- ・上記表は回答比率を5%刻みで示しているが、回答が78%のように途中である場合は、上記表から最も近い80%における数値を読み取り、類推し使用すればよい。クロス集計時の標本数（集計対象者数）についても同様である。

6. この報告書の見方

各見出しの末尾に記載の<SA>は単一の回答を、<MA>は複数の回答をすることができる設問を表している。また集計対象者数を N で表記している。

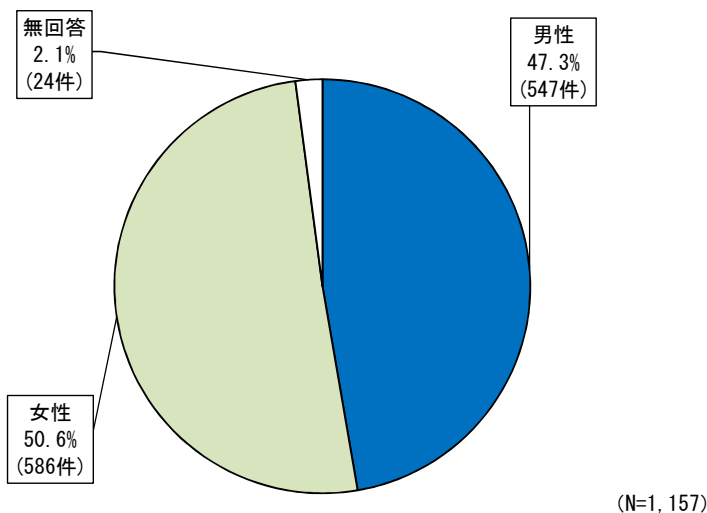
比率は、各項目の不明を含む母集団（集計対象者数）に対する百分比（%）を表している。したがって、複数の回答を求める設問では百分比（%）の合計は 100%を超える。百分比（%）は小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位までを表示している。四捨五入の結果、項目の百分比（%）の合計が 99.9%や 100.1%など 100%に一致しない場合がある。

百分比（%）どうしの比較における差は、原則として「・・・ポイント」と表現しているほか、本文や図中における選択肢表記は、書面の都合上、語句を短縮・簡略化している場合がある。

II. 調査結果

ご回答者自身やご回答者の家庭について

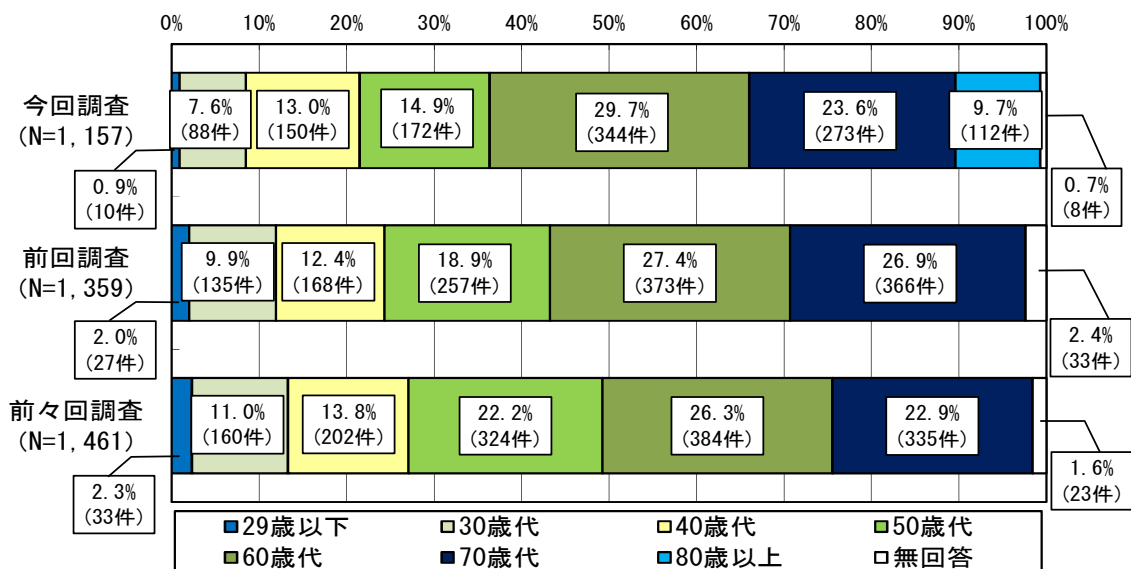
【問1】 あなたの性別はどちらですか。 <SA>



※ 前回、前々回調査では性別に関する設問を設けていない。

◇ 男女の割合はほぼ半々である。

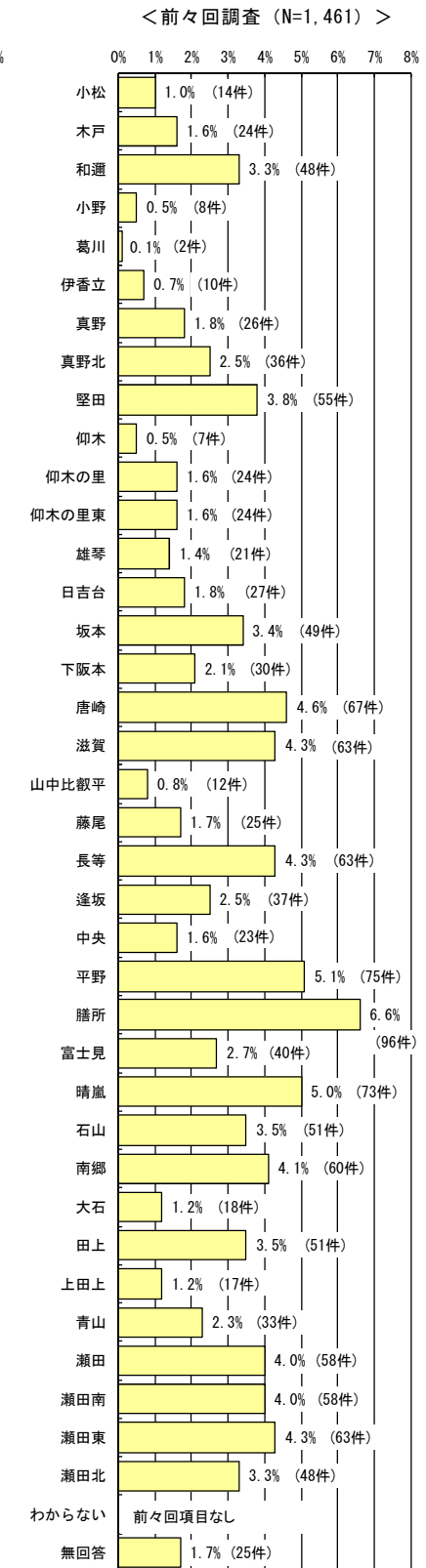
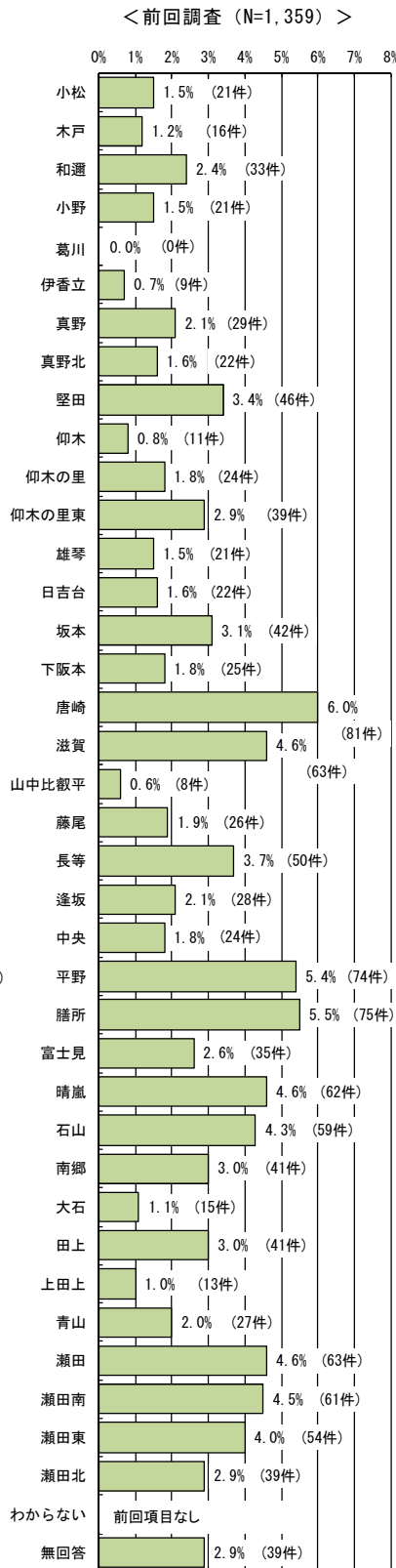
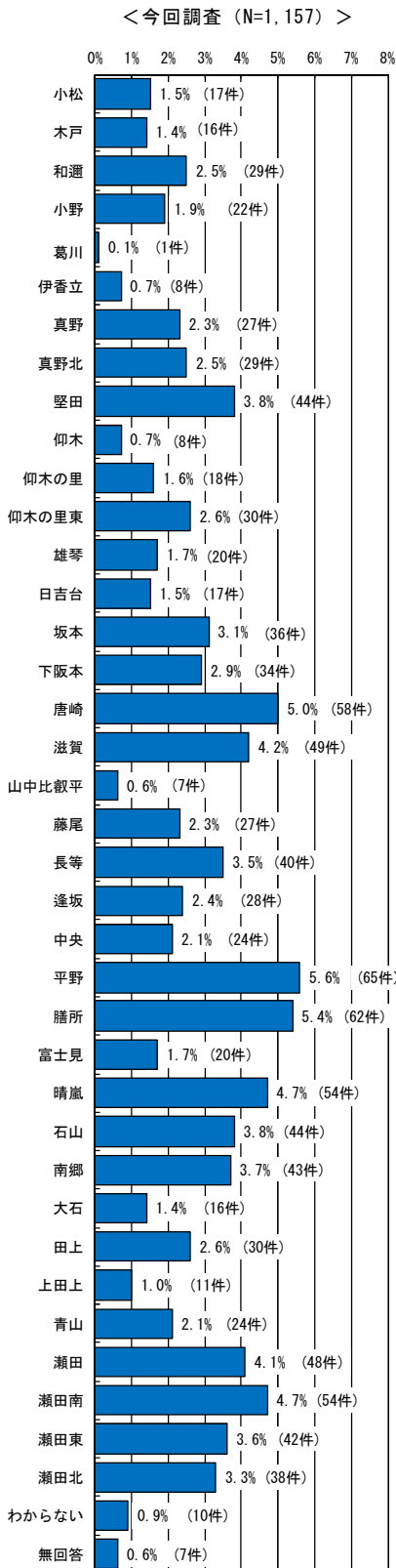
【問2】 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。 <SA>



※ 前回、前々回調査では「80歳以上」の項目を設けていない。

◇ 回答者は60歳代以上が約6割（63.0%）と前回調査から上昇傾向にある。

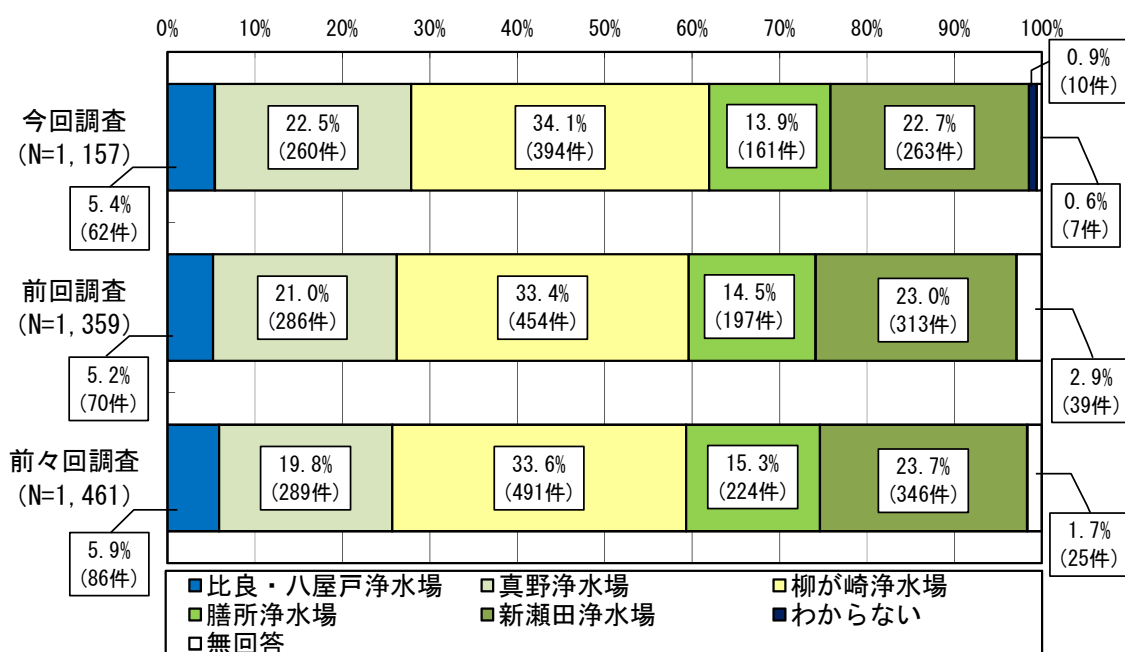
【問3】あなたの居住地（学区）はどちらですか。 <SA>



当ページ以降、浄水場別の傾向を把握するため、居住地（学区）を浄水場別に以下のとおり区分した。

浄水場区域	居住地（学区）
比良・八屋戸浄水場	小松、木戸、和邇
真野浄水場	小野、葛川、伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東、雄琴、日吉台、坂本
柳が崎浄水場	下阪本、唐崎、滋賀、山中比叡平、藤尾、長等、逢坂、中央、平野、膳所
膳所浄水場	富士見、晴嵐、石山、南郷
新瀬田浄水場	大石、田上、上田上、青山、瀬田、瀬田南、瀬田東、瀬田北

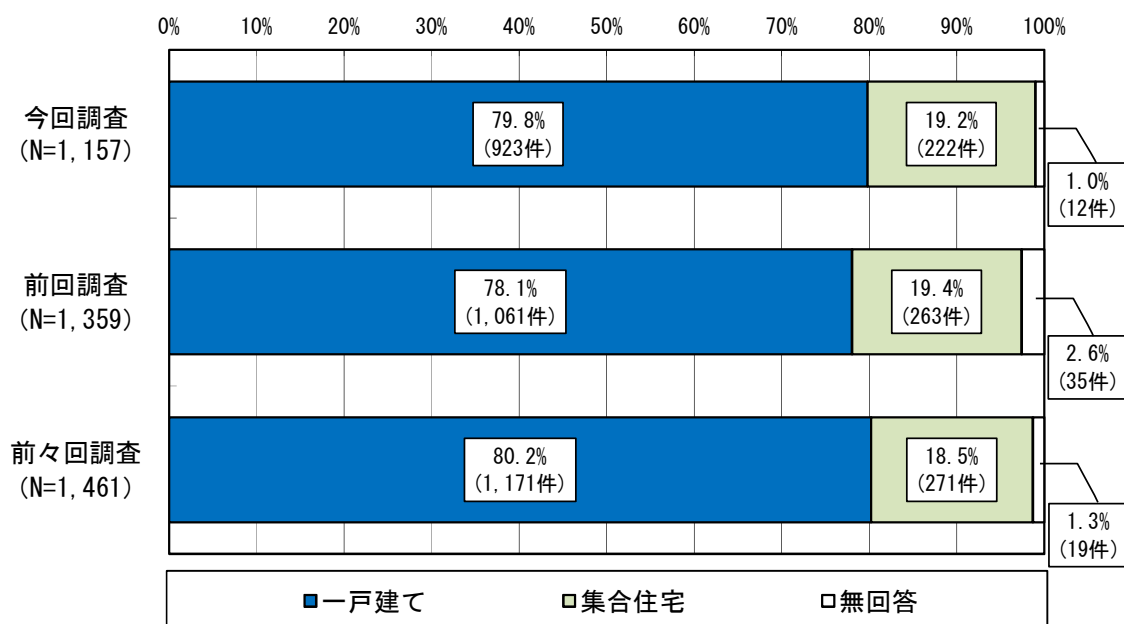
※ 複数の浄水場から給水を受けている居住地は、主な給水を受ける浄水場区域に区分した。



※ 前回、前々回調査では「わからない」の項目は設けていない。

◇ 浄水場別の割合は前回、前々回調査とほぼ同様に推移している。

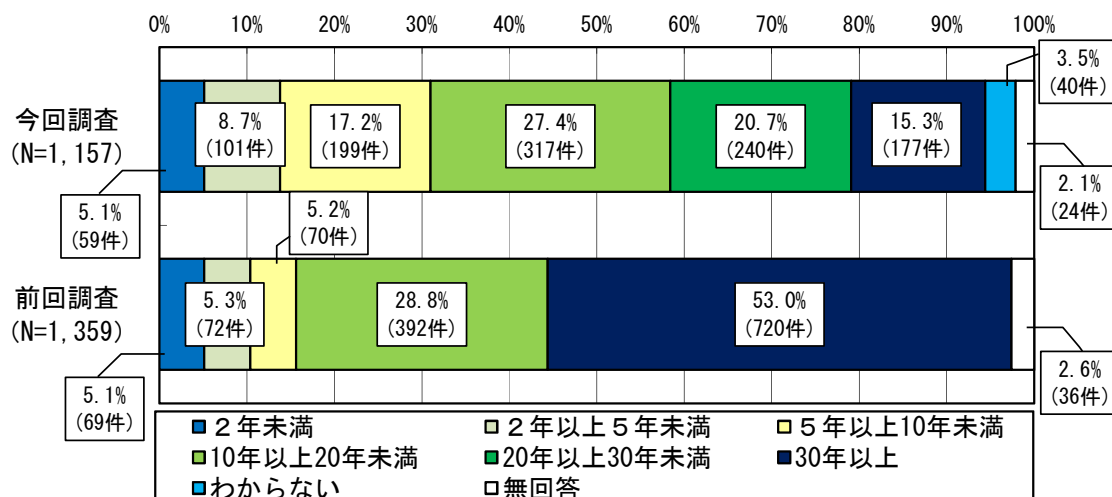
【問4】あなたのお住まいはどちらですか。<SA>



※ 前回調査では階数についての項目を設けていたが、今回は設けていない。

◇ 回答者の約8割（79.8%）が一戸建てに住んでいる。

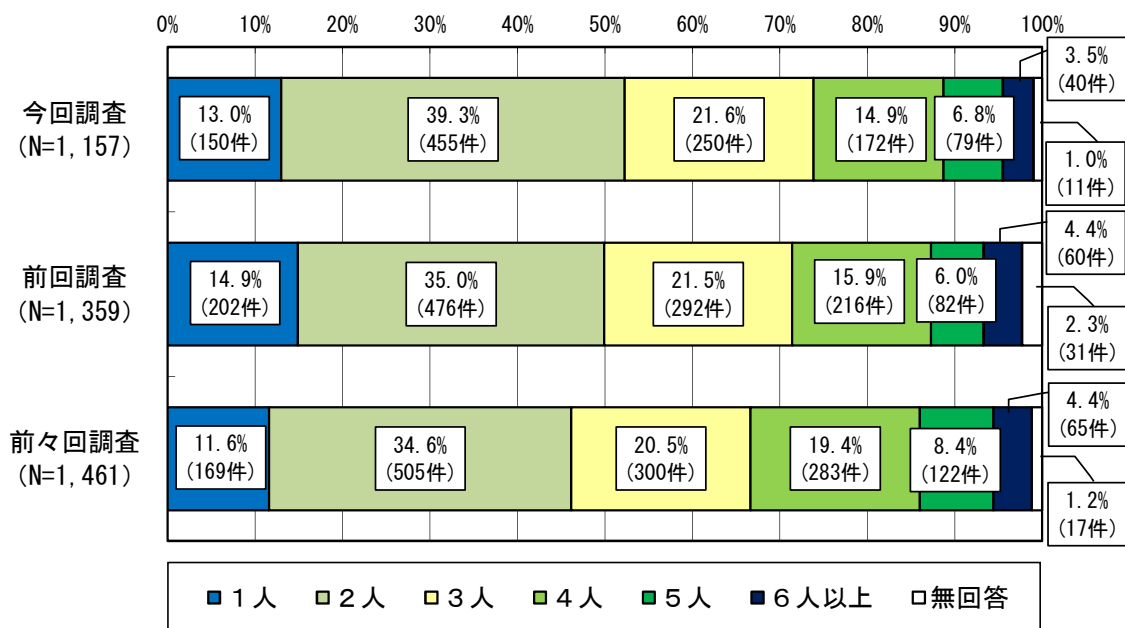
【問5】あなたのお住まいの築年数についておたずねします。なお、キッチン、お風呂、トイレなど水周りに関するリフォーム工事をされている場合は、最近のリフォーム工事後の年数でお答えください。<SA>



※ 前回調査は「10年以上20年未満」「20年以上30年未満」の項目がなく、「10年以上30年未満」で整理されていたため、今回調査との比較にあたっては、「10年以上20年未満」に整理した。

- ◇ 前回調査は30年以上が過半数を占めていたが、今回調査はリフォーム工事後の年数を聞いたため、15.3%に大幅に低下した。
- ◇ 「2年以上5年未満」「5年以上10年未満」と回答した人の割合が25.9%と15.4ポイント上昇した。

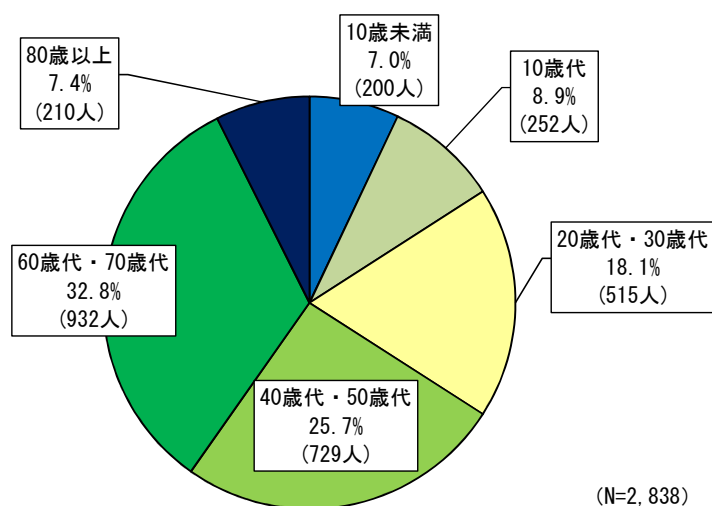
【問6】あなたを含む同居の家族は何人ですか。＜SA＞



※ 前回および前々回調査では、「6人以上」で整理しているため、今回調査の「6人」「7人」「8人以上」を「6人以上」の項目で整理することとした。

◇ 「2人」「3人」世帯の割合が上昇傾向にあり、合わせて60.9%と半数を超えている。

【問7】問6で2人以上と答えた方におたずねします。年代別にそれぞれ何人ですか。＜MA＞

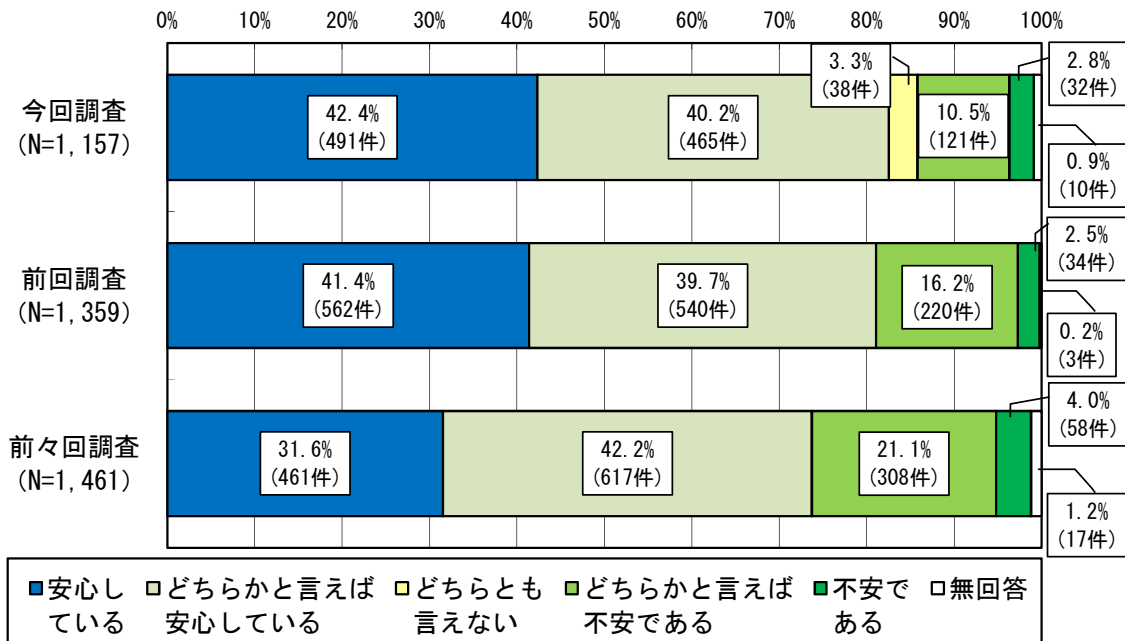


※ 調査対象世帯の年齢分布の状況を把握するため、同居人数の合計(2,838人)を母集団とした。

◇ 同居者は各年代に分散しており、同居人数の約6割(59.7%)が50歳代以下である。

水道水の安全性とおいしさについて

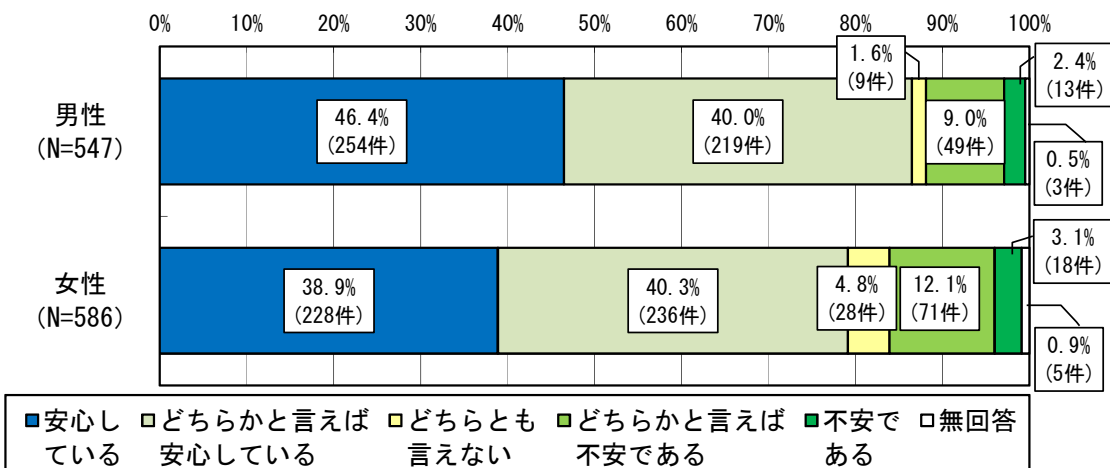
【問 8】 あなたは水道水の安全性について、どう思いますか。 <SA>



※ 前回、前々回調査では、「どちらとも言えない」の項目は設けていない。

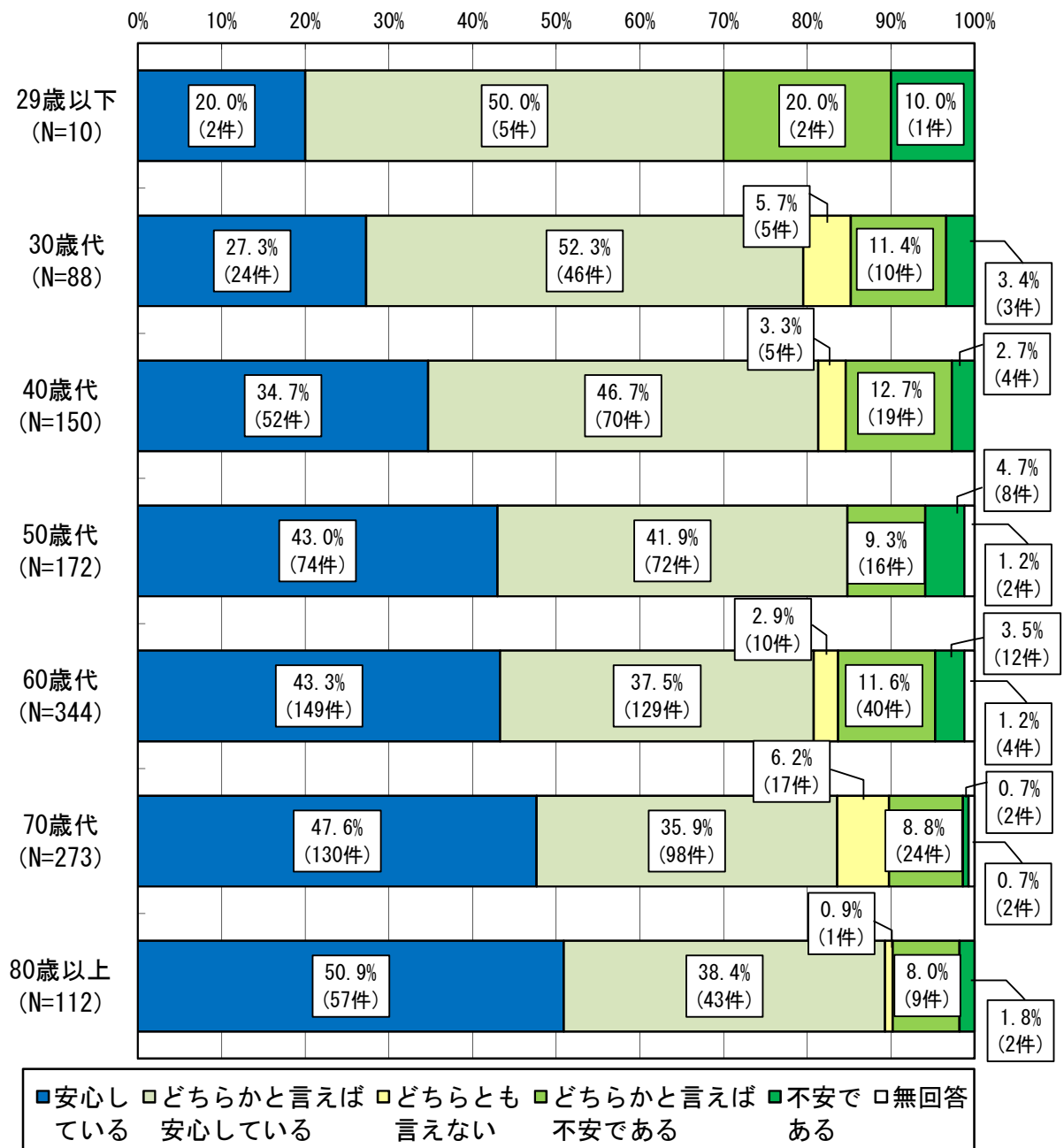
- ◇ 「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答している人の割合は82.6%である。
- ◇ 「どちらとも言えない」と回答している人の割合は3.3%である。

<性別>



- ◇ 男性は「安心している」と回答した人の割合が46.4%と高くなっている。
- ◇ 女性は「どちらかと言えば不安である」「不安である」「どちらとも言えない」と回答した人の割合が比較的高くなっている。

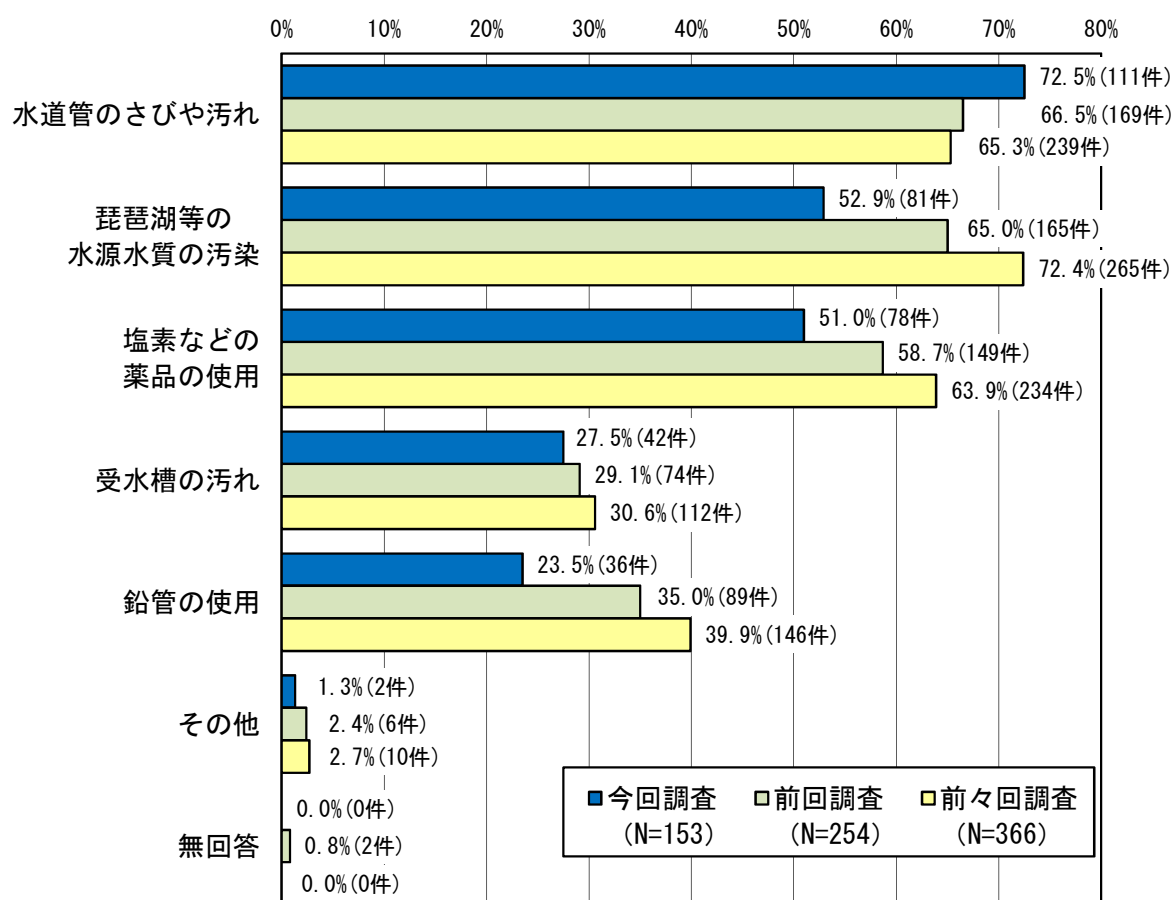
<年代別>



◇ 年代が高くなるほど、「安心している」と回答した人の割合が高くなっている。

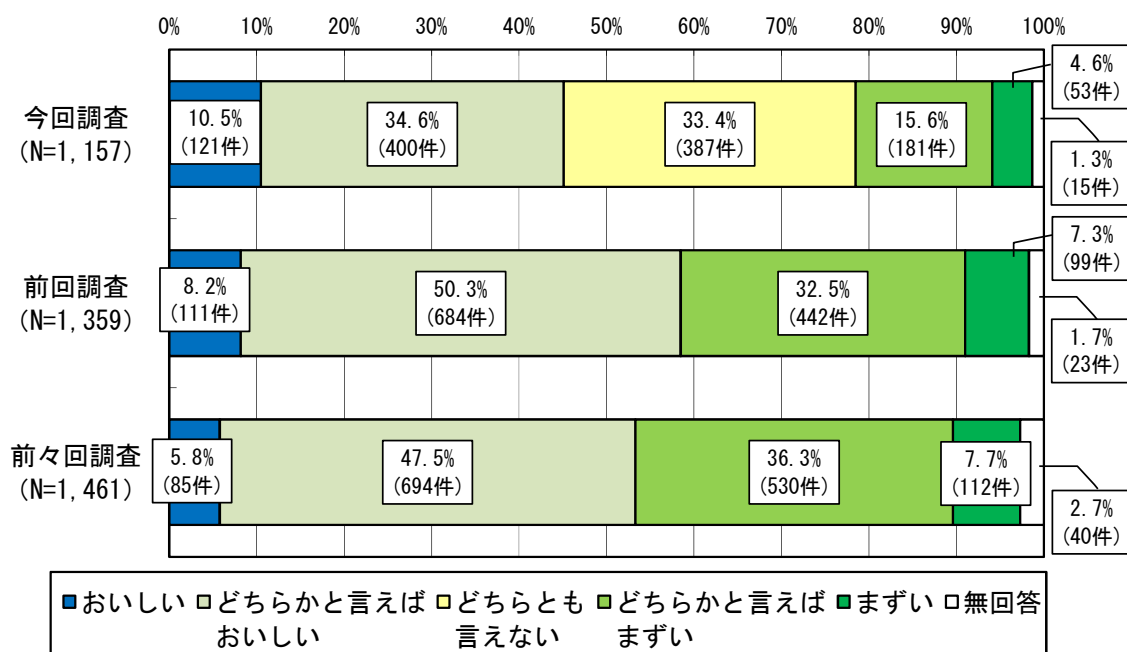
【問9】問8で「3 どちらかと言えば不安である」、「4 不安である」と答えた方におたずねします。あなたが水道水に「不安」を感じる理由は何ですか。

<MA>



- ◇ 多くの項目は低下しているが、「水道管のさびや汚れ」と回答した人の割合は72.5%と前回調査から6.0ポイント上昇している。
- ◇ 「琵琶湖等の水源水質の汚染」「塩素などの薬品の使用」が半数を超えている。

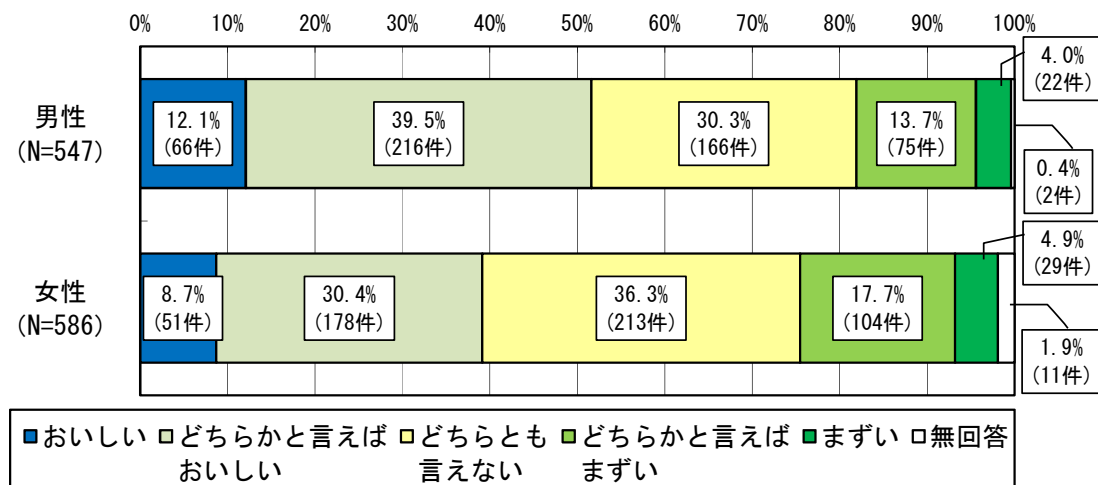
【問 10】あなたは水道水の味について、どう思いますか。〈SA〉



※ 前回、前々回調査では、「どちらとも言えない」の項目は設けていない。

◇ 「おいしい」「どちらかと言えばおいしい」と回答した人の割合は45.1%となっている。

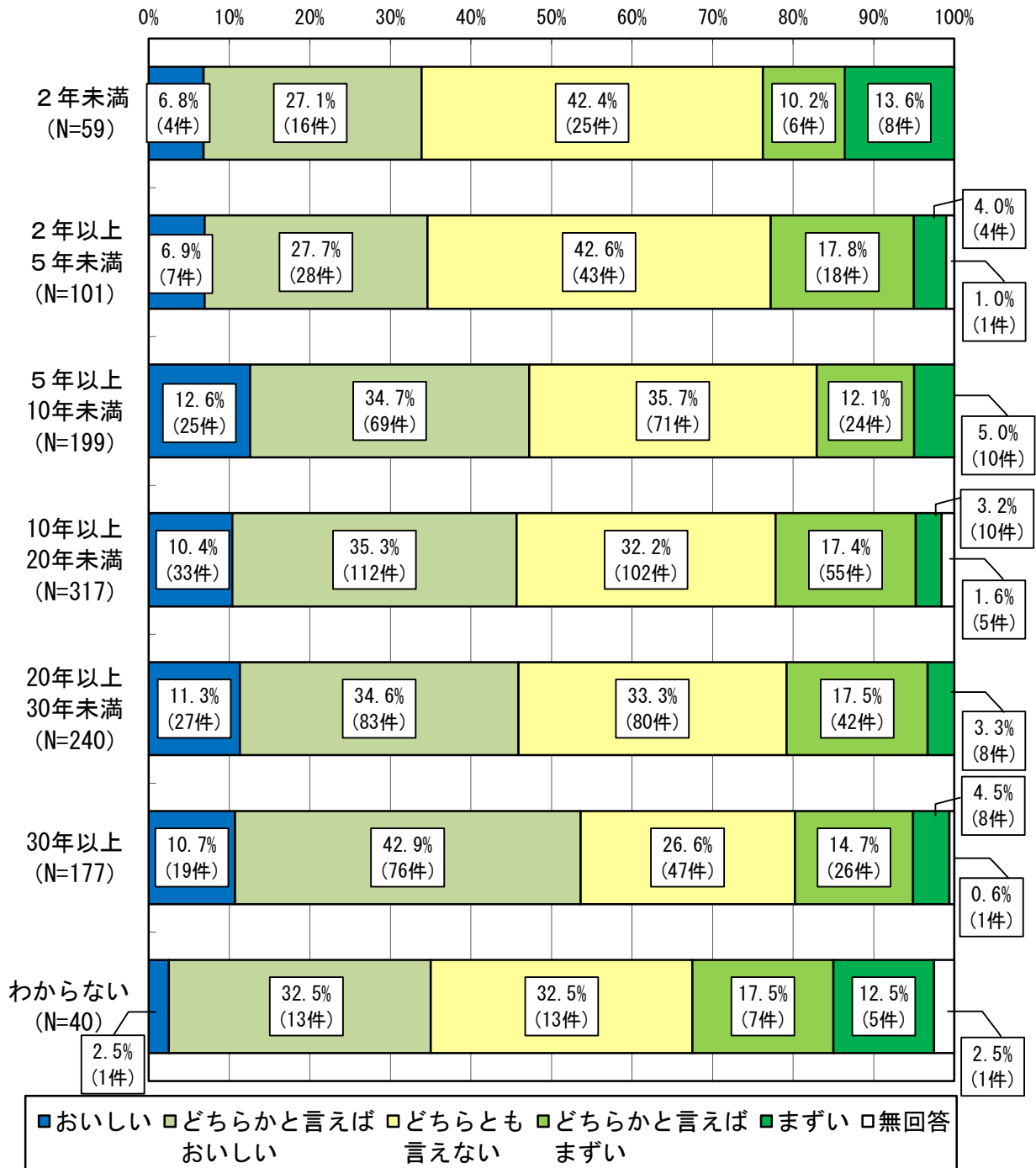
〈性別〉



◇ 男性は「おいしい」「どちらかと言えばおいしい」と回答した人の割合が高く51.6%と半数を超えている。

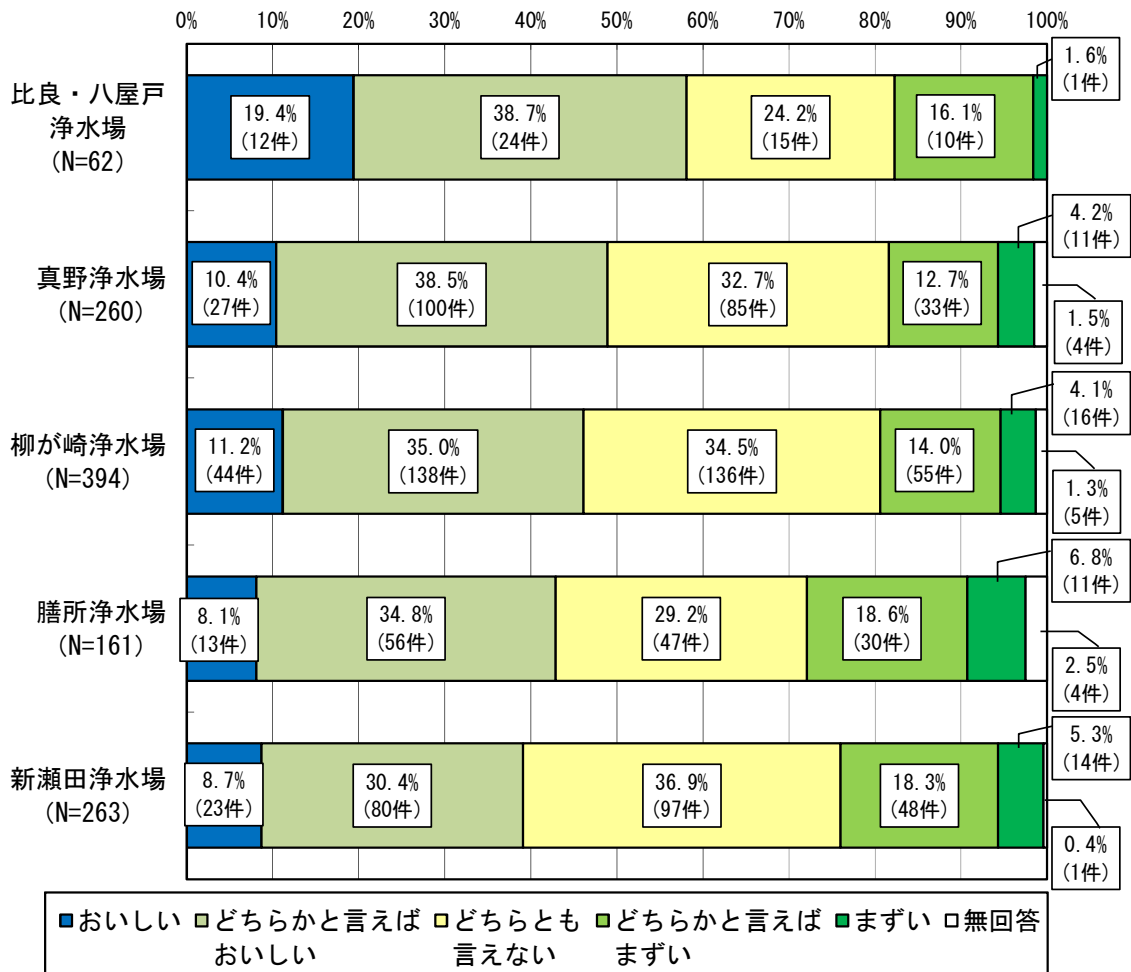
◇ 女性は「どちらかと言えばまずい」「まずい」と回答した人の割合が22.7%と比較的高くなっている。

< 築年数別 >



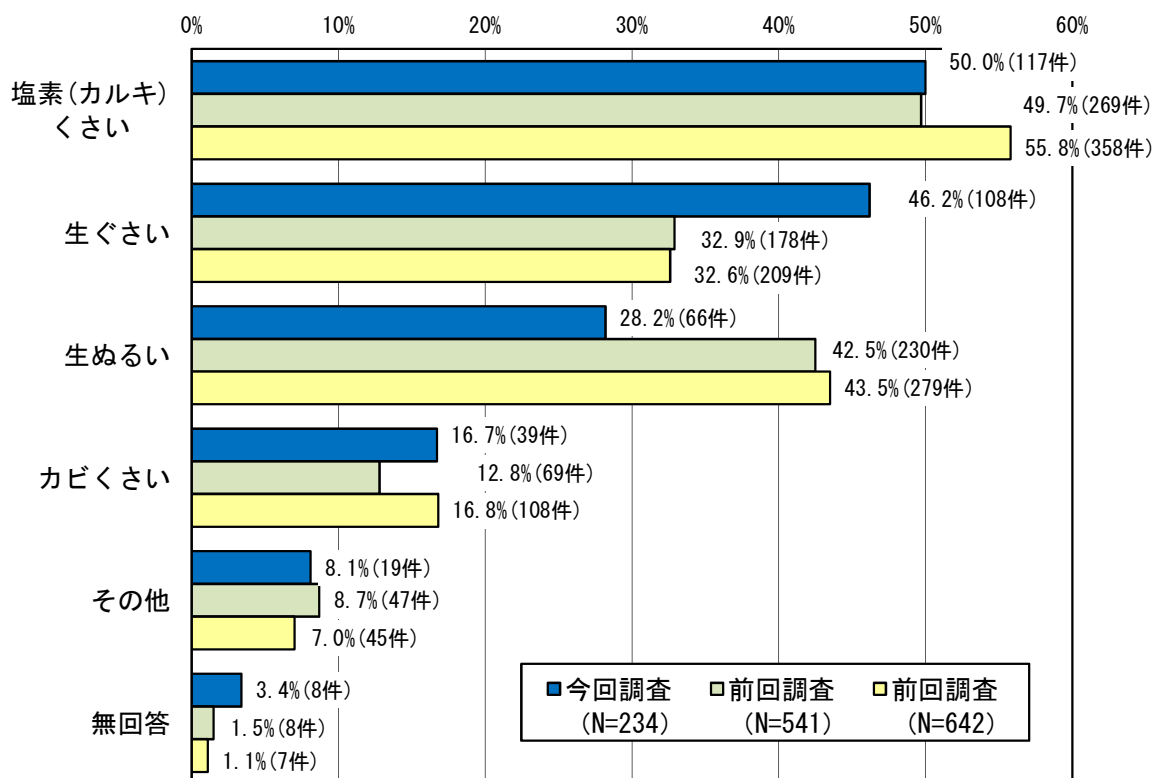
- ◇ 築年数が短いほど、「どちらとも言えない」と回答した人の割合が高くなっている。
- ◇ 築年数が長いほど、「おいしい」「どちらかと言えばおいしい」と回答した人の割合が高くなっている。

<浄水場別>



- ◇ 比良・八屋戸浄水場では「おいしい」「どちらかと言えばおいしい」と回答した人の割合が58.1%と半数を超えている。
- ◇ 膳所浄水場、新瀬田浄水場では「おいしい」「どちらかと言えばおいしい」と回答した人の割合が他の浄水場と比較して低くなっている。

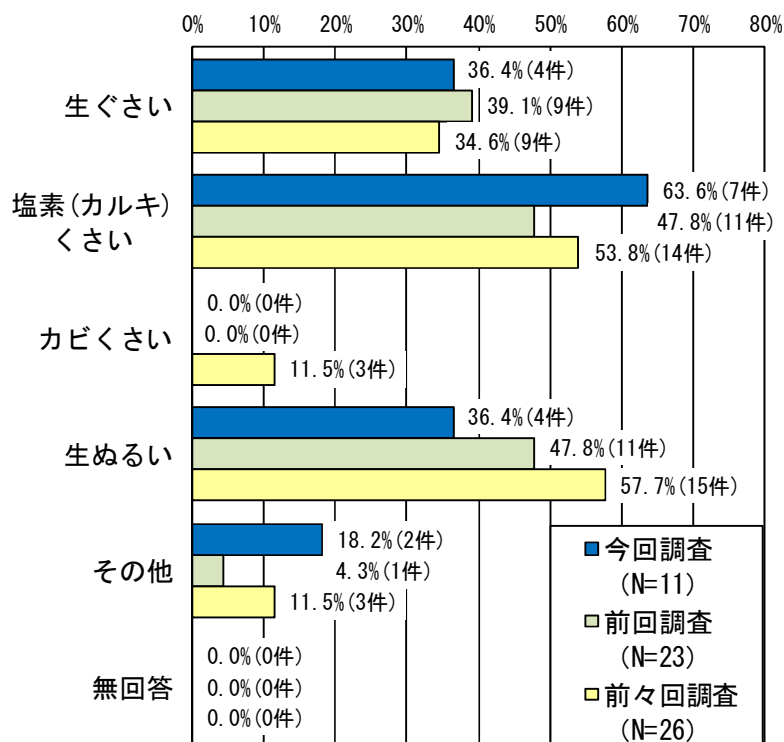
【問11】問10で「3 どちらかと言えばまずい」、「4 まずい」と答えた方におたずねします。あなたが水道水を「まずい」と感じる理由は何ですか。〈MA〉



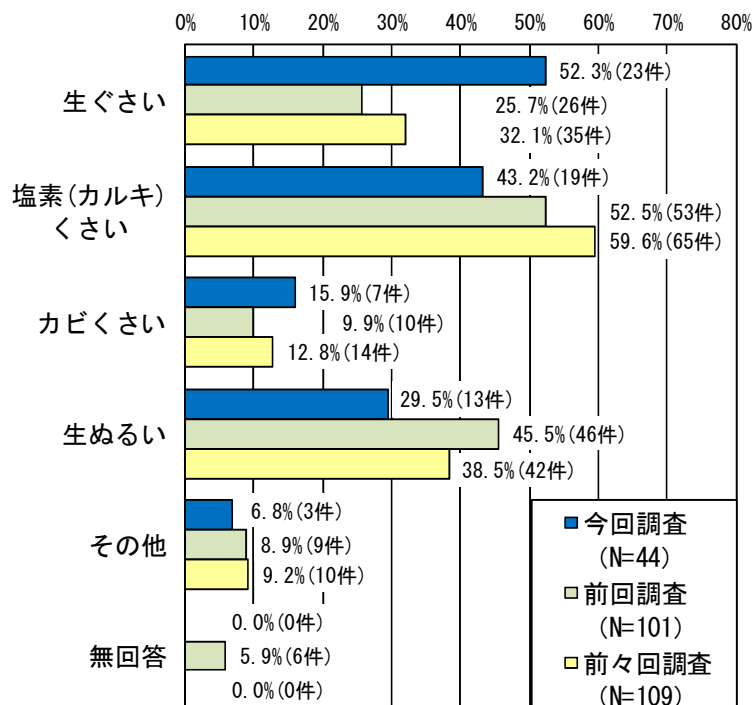
◇ 「生ぬるい」と回答した人の割合は28.2%と前回調査から14.3ポイント低下している一方、「生ぐさい」と回答した人の割合は46.2%と前回調査から13.3ポイント上昇している。

<浄水場別>

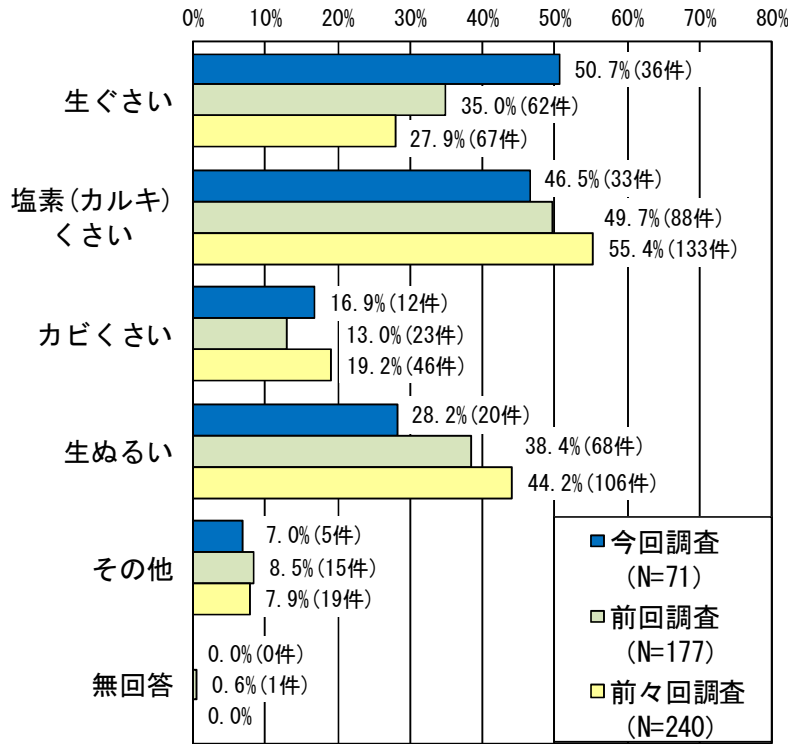
<比良・八屋戸浄水場>



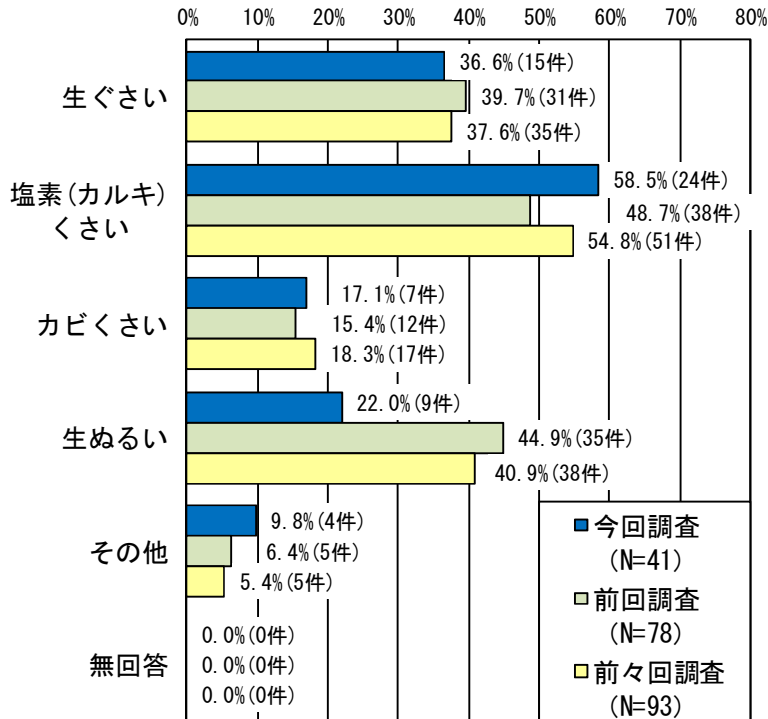
<真野浄水場>



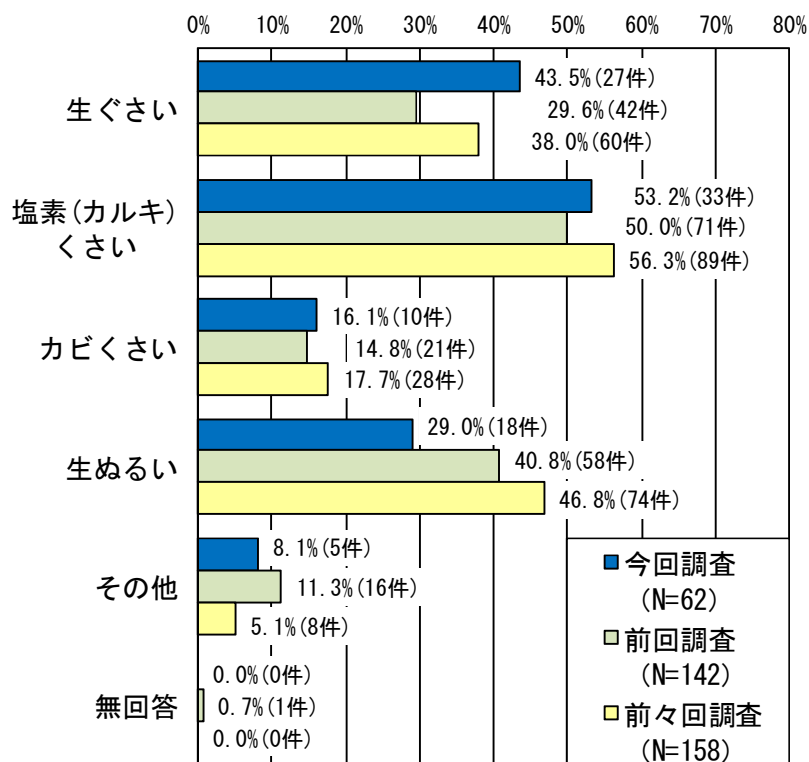
＜柳が崎浄水場＞



＜膳所浄水場＞



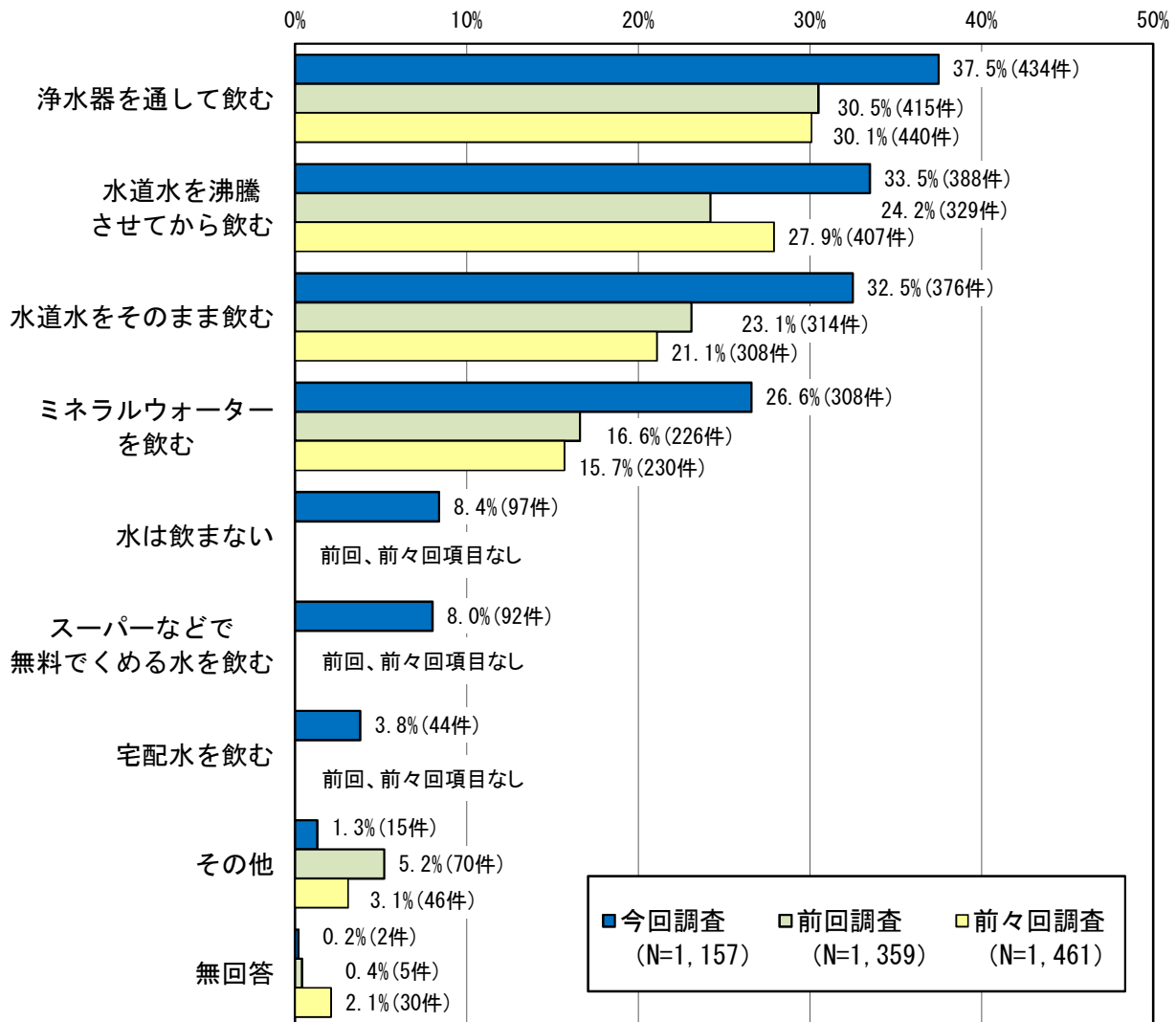
〈新瀬田浄水場〉



- ◇ 前回、前々回調査は8月に実施しているため、「生ぬるい」はすべての浄水場で低下している。
- ◇ 真野、柳が崎、新瀬田の各浄水場では「生ぐさい」、比良・八屋戸、膳所の各浄水場では「塩素(カルキ)くさい」が前回調査と比較して上昇している。

水道水の利用状況について

【問 12】あなたの家庭では普段、水をどのようにして飲んでいきますか。＜MA＞

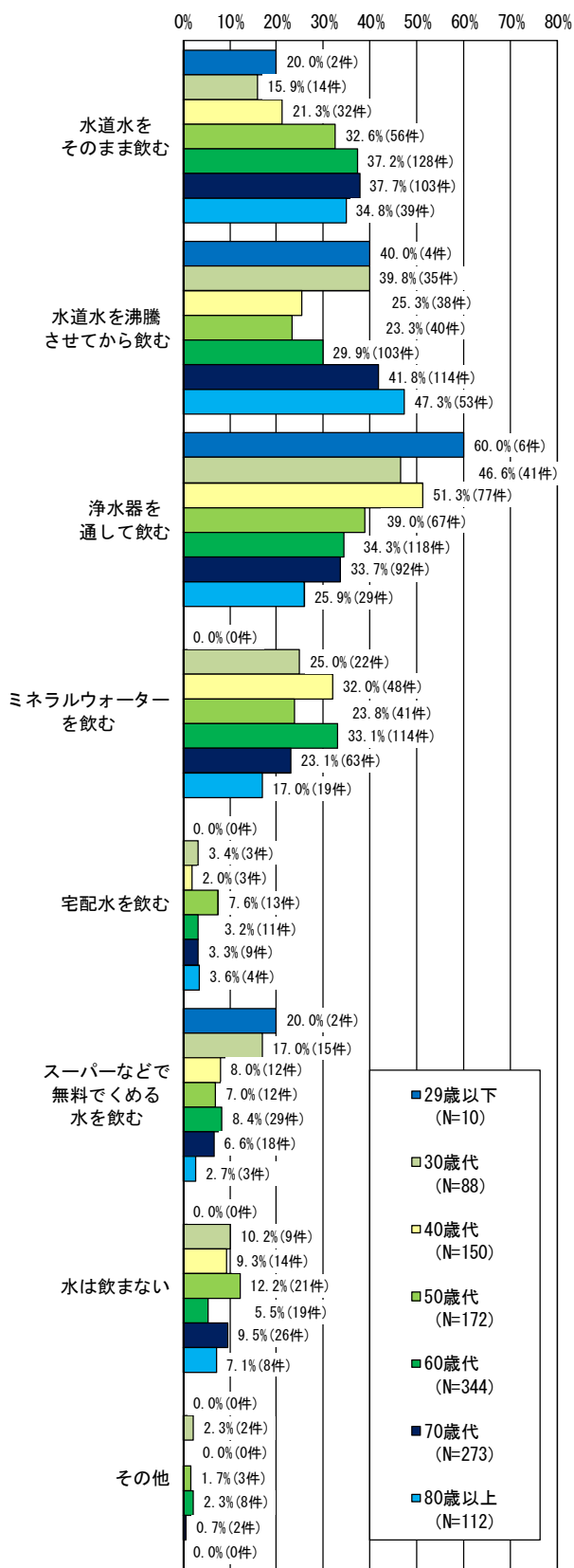


※ 前回、前々回調査は単一の回答を求める設問であったが、今回調査は複数の回答をすることができる設問に変更した。

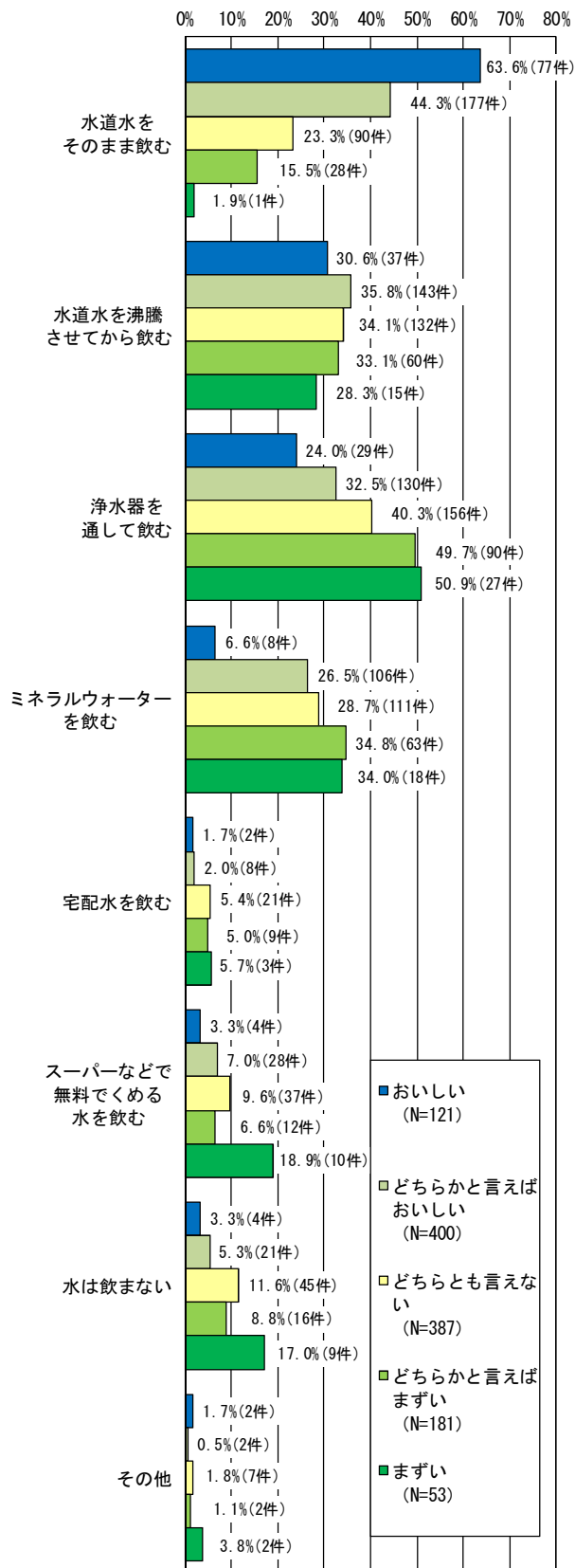
また、前回、前々回調査では、「宅配水を飲む」「スーパーなどで無料でくめる水を飲む」「水は飲まない」の項目は設けていない。

- ◇ 「浄水器を通して飲む」と回答した人の割合が37.5%と最も高くなっている。
- ◇ 複数回答としたため、各項目とも前回調査と比較して割合が高まっているが、各項目の順位に変動はない。

<年代別>

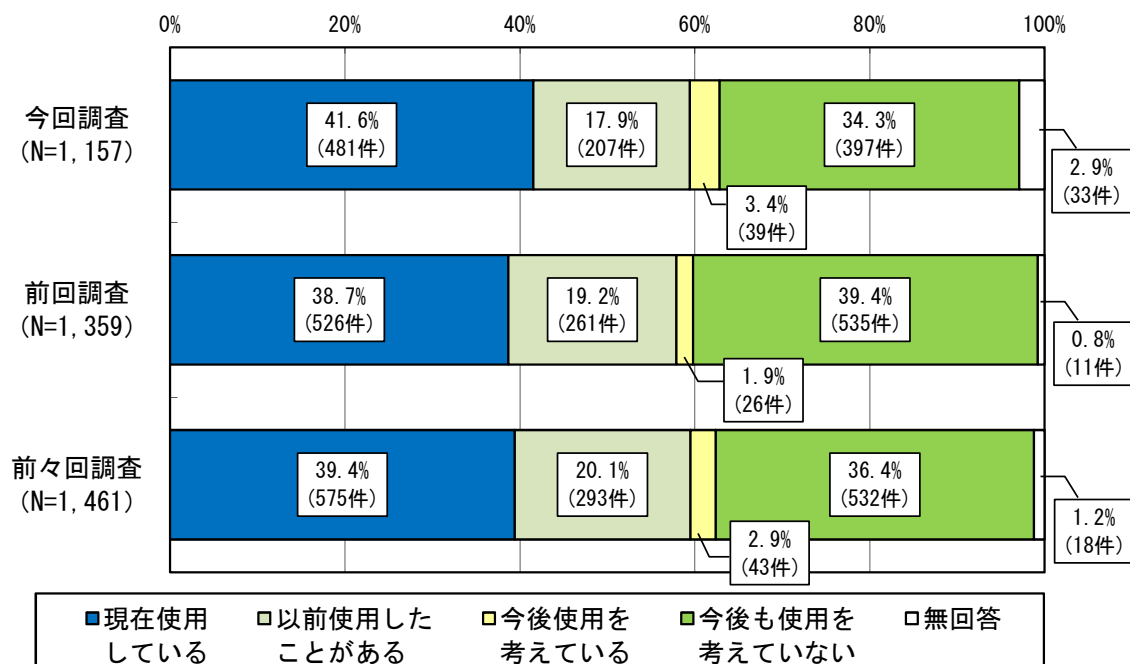


<水道水の味の評価別>



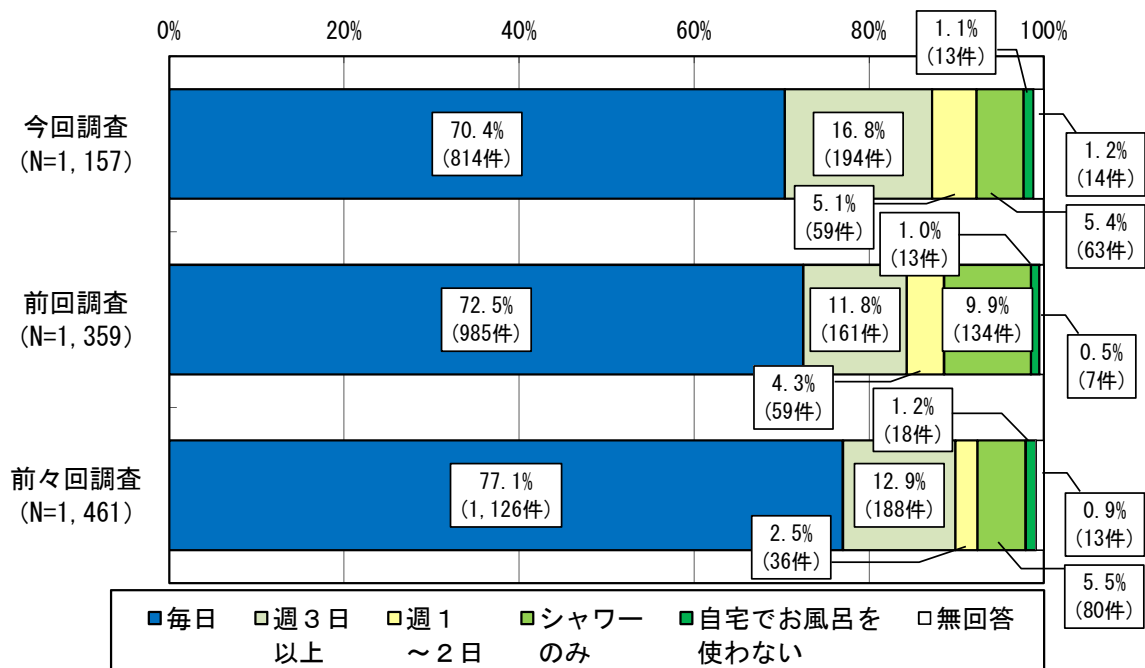
- ◇ 年代が若いほど浄水器等を利用する傾向にあり、年代が高くなるにつれ、「水道水をそのまま飲む」と回答した人の割合が高くなる傾向にある。
- ◇ 「水道水をそのまま飲む」「水道水を沸騰させてから飲む」と回答した人は「おいしい」「どちらかと言えばおいしい」と回答した割合が高い。

【問 13】 あなたの家庭では浄水器を使用していますか。 <SA>



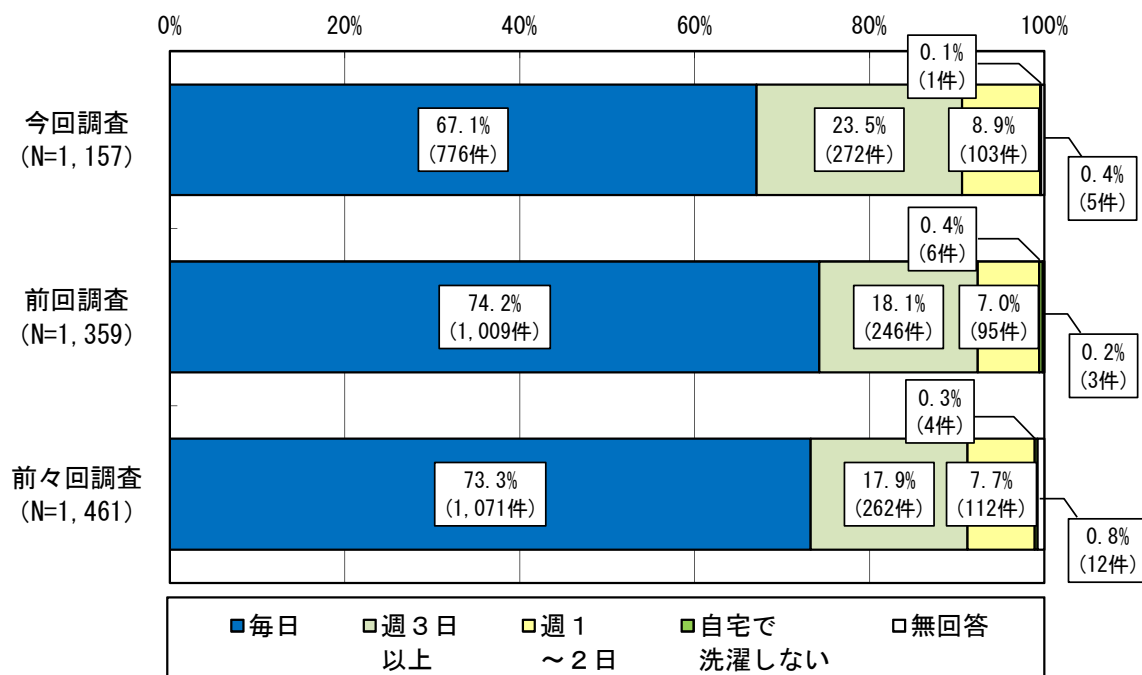
- ◇ 「現在使用している」と回答した人の割合は41.6%である。
- ◇ 「今後も使用を考えていない」と回答した人の割合は前回調査と比較して低下している。

【問 14】 あなた（家族も含めます）は入浴をどれくらいの頻度でされますか。 <SA>



- ◇ 「毎日」入浴している人が70.4%と大部分を占めているが、割合は前回調査と比較して低下している。

【問 15】 あなた（家族も含めます）は洗濯をどれくらいの頻度でされますか。 <SA>

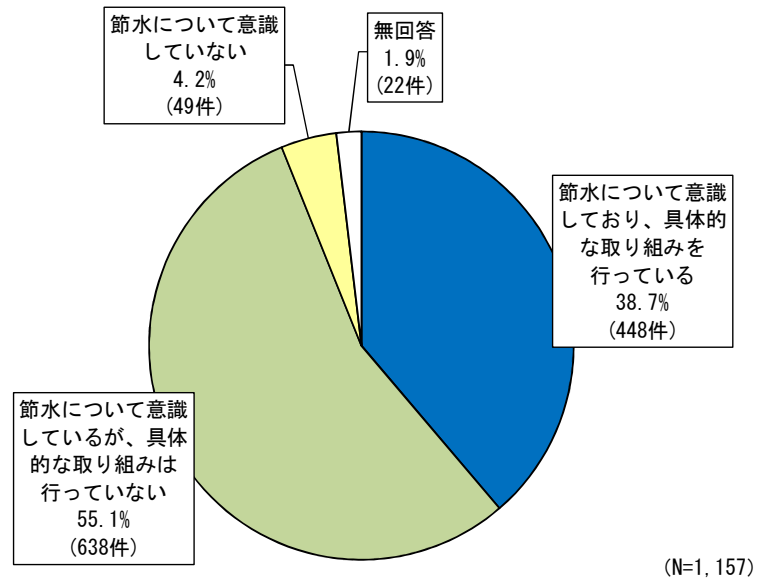


◇ 「毎日」洗濯している人が67.1%と大部分を占めているが、割合は前回調査と比較して低下している。

節水について

【問 16】あなたは普段、節水について意識し、具体的な取り組みを行っていますか。

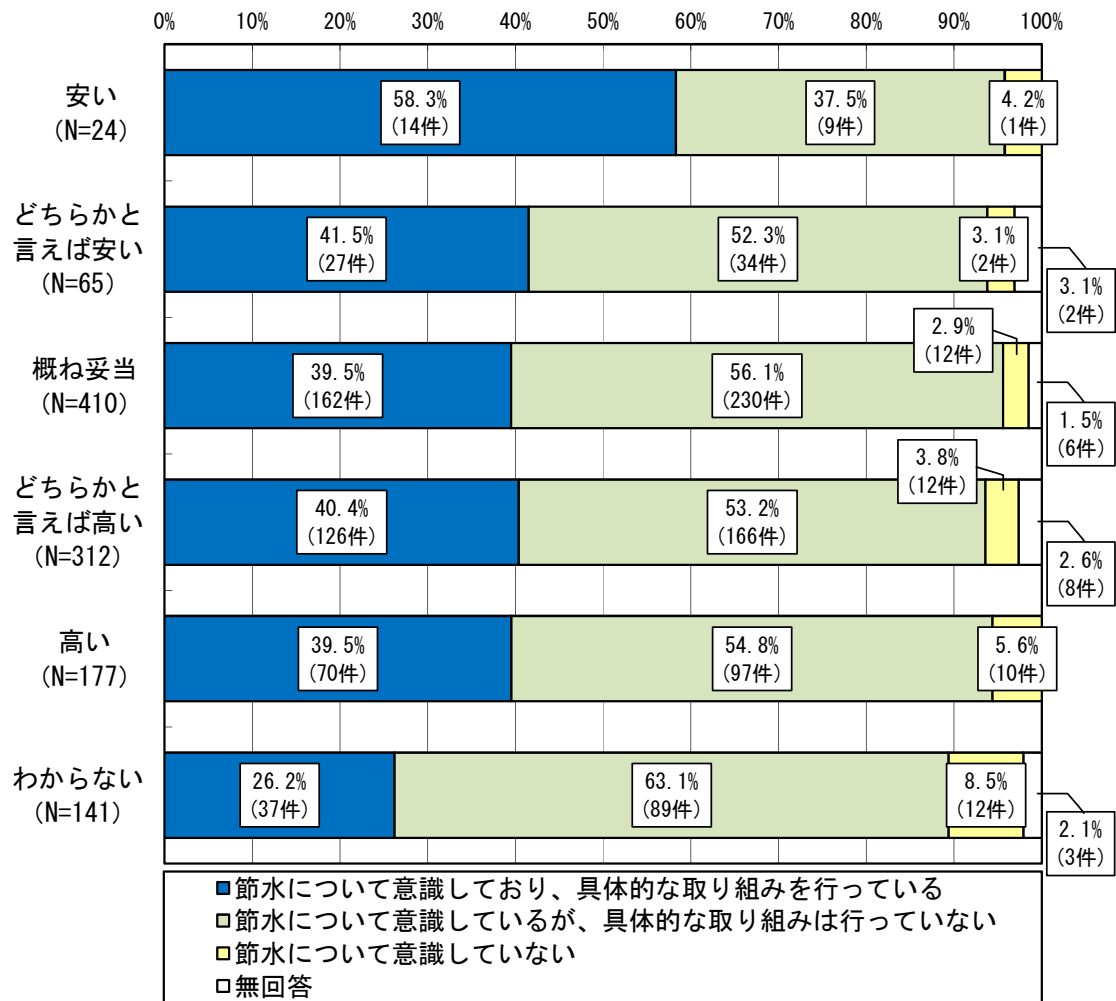
<SA>



- ◇ 「節水について意識しているが、具体的な取り組みを行っていない」と回答した人の割合は 55.1% となっている。

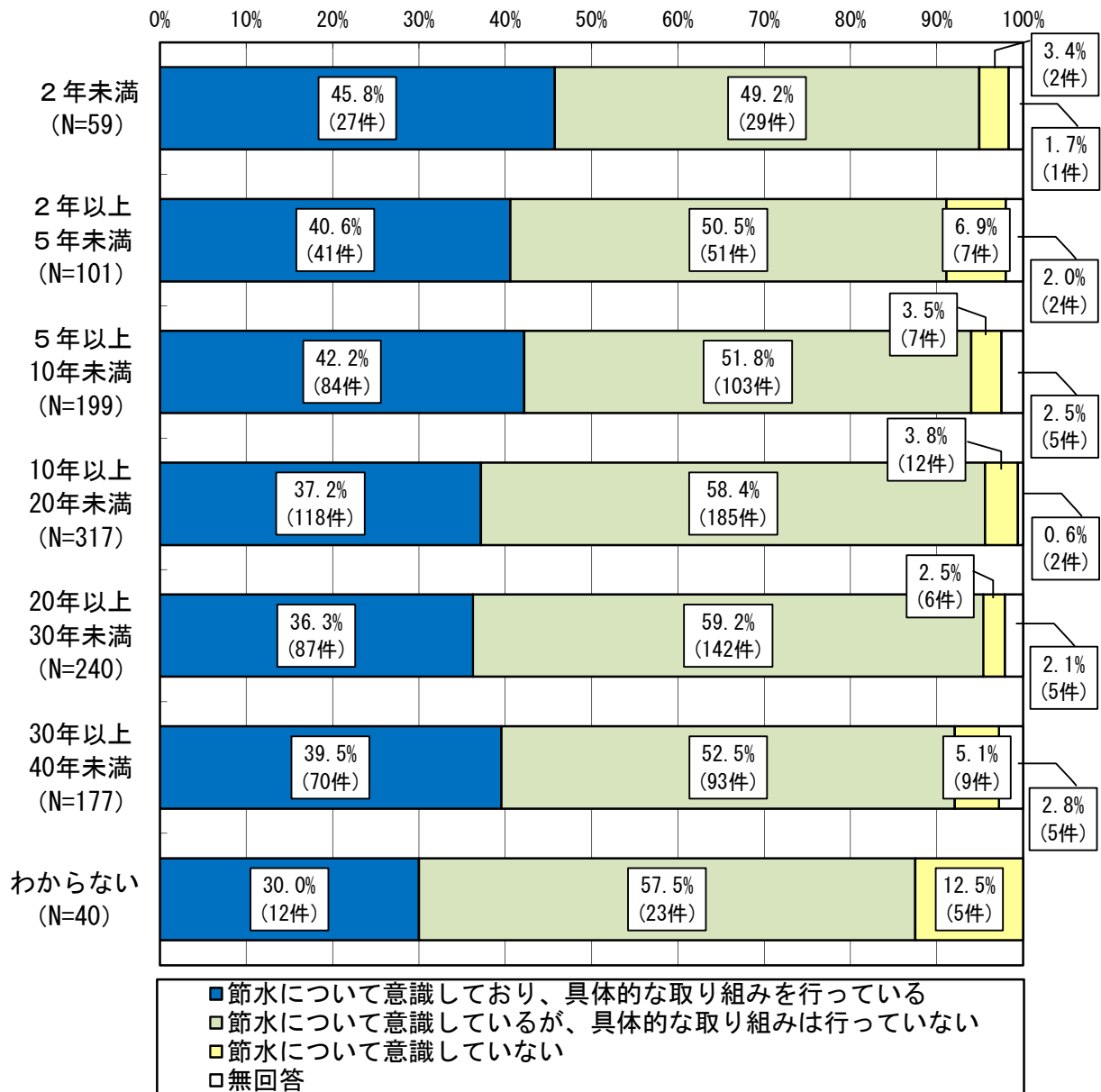
<水道料金の負担感別>

(水道料金の負担感については、問 18 に結果を記載)



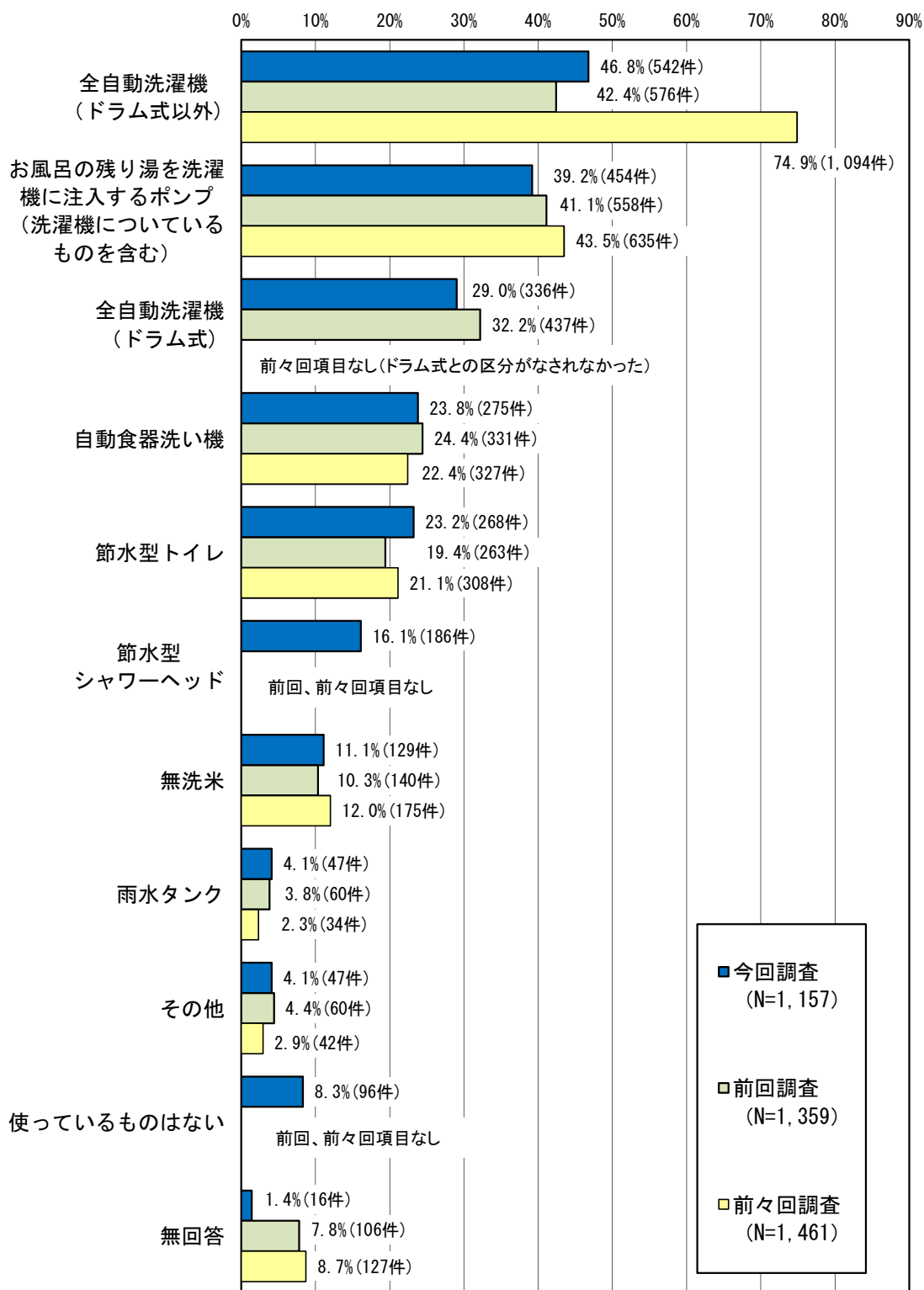
◇ 水道料金を「安い」と回答した人ほど、节水について意識し、具体的な取り組みを行っている」と回答した人の割合が高い。

< 築年数別 >



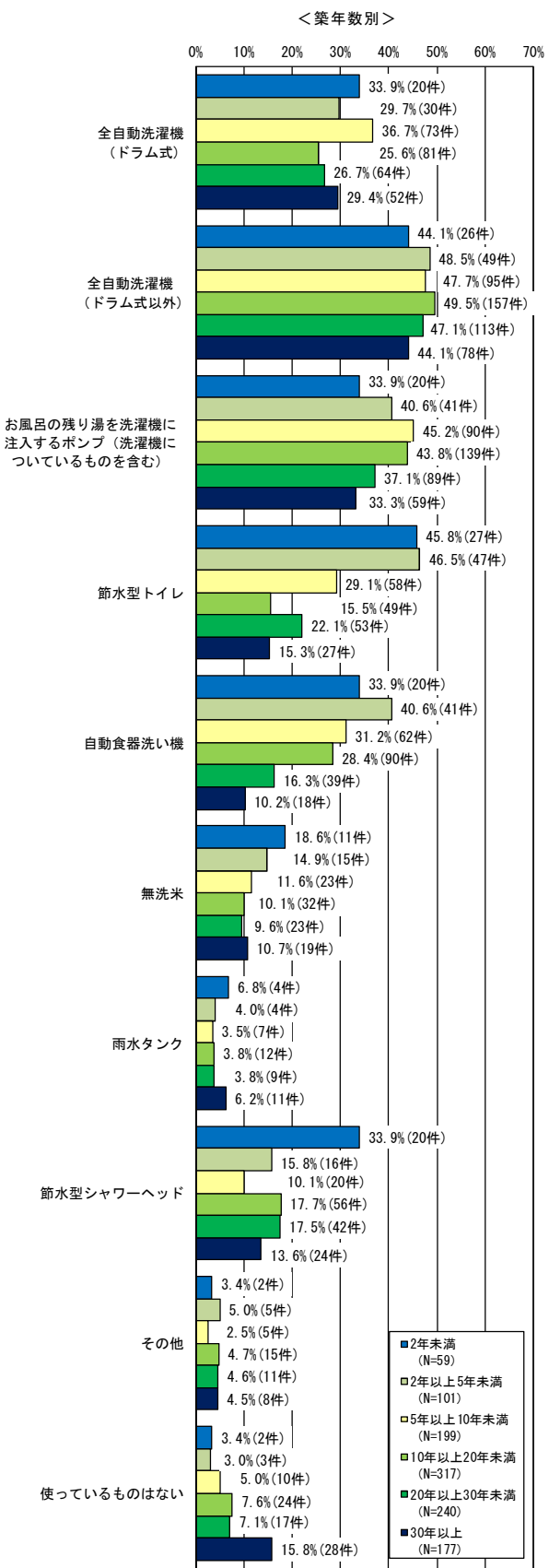
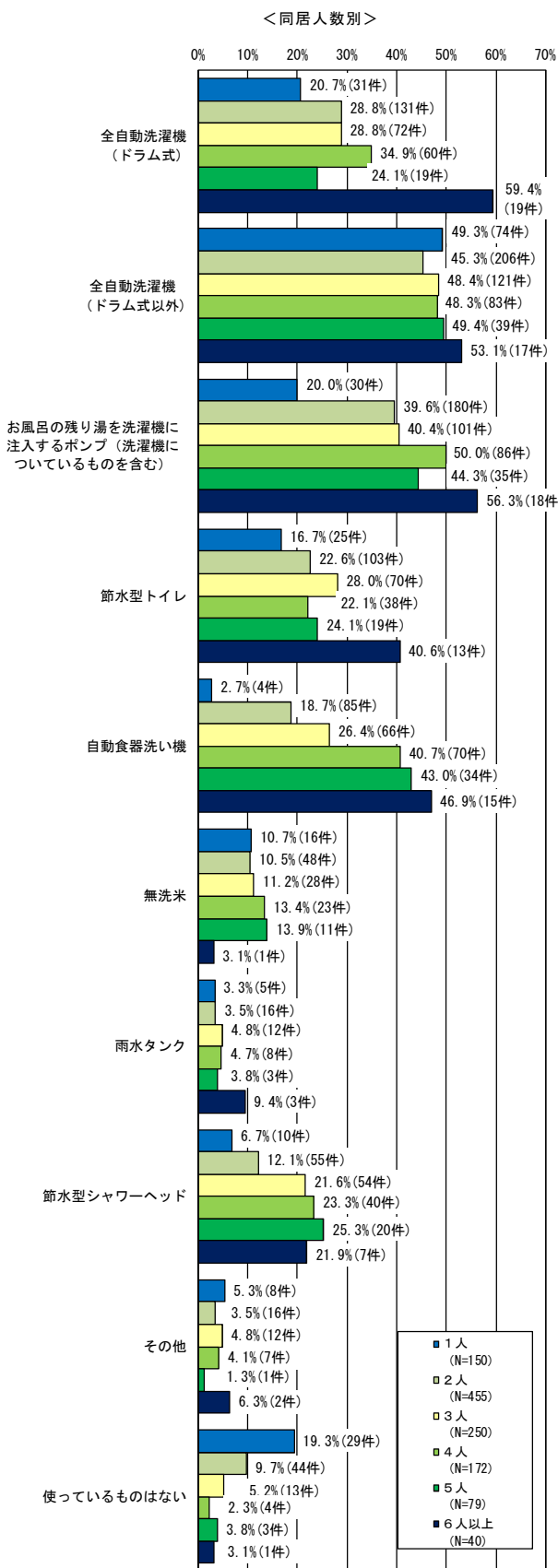
◇ 築年数が短いほど、具体的な取り組みを行っているという回答した人の割合が高い。

【問 17】 あなたの家庭で節水のためにお使いのものは何ですか。 <MA>



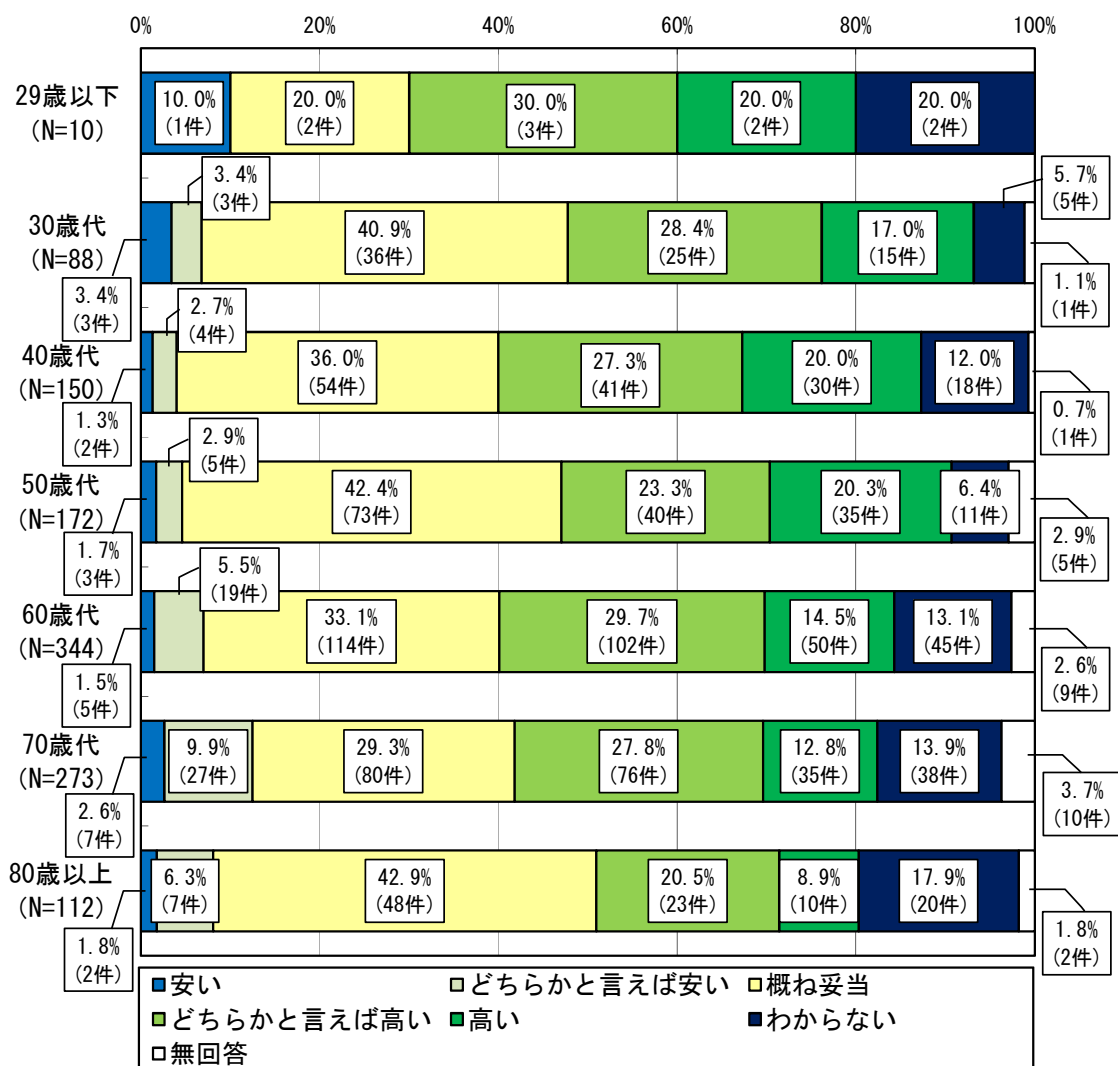
※ 前回、前々回調査では、「節水型シャワーヘッド」「使っているものはない」の項目は設けていない。前々回調査では全自動洗濯機について（ドラム式）と（ドラム式以外）の区分を設けていない。

◇ 「全自動洗濯機（ドラム式以外）」が46.8%と最も高くなっている。



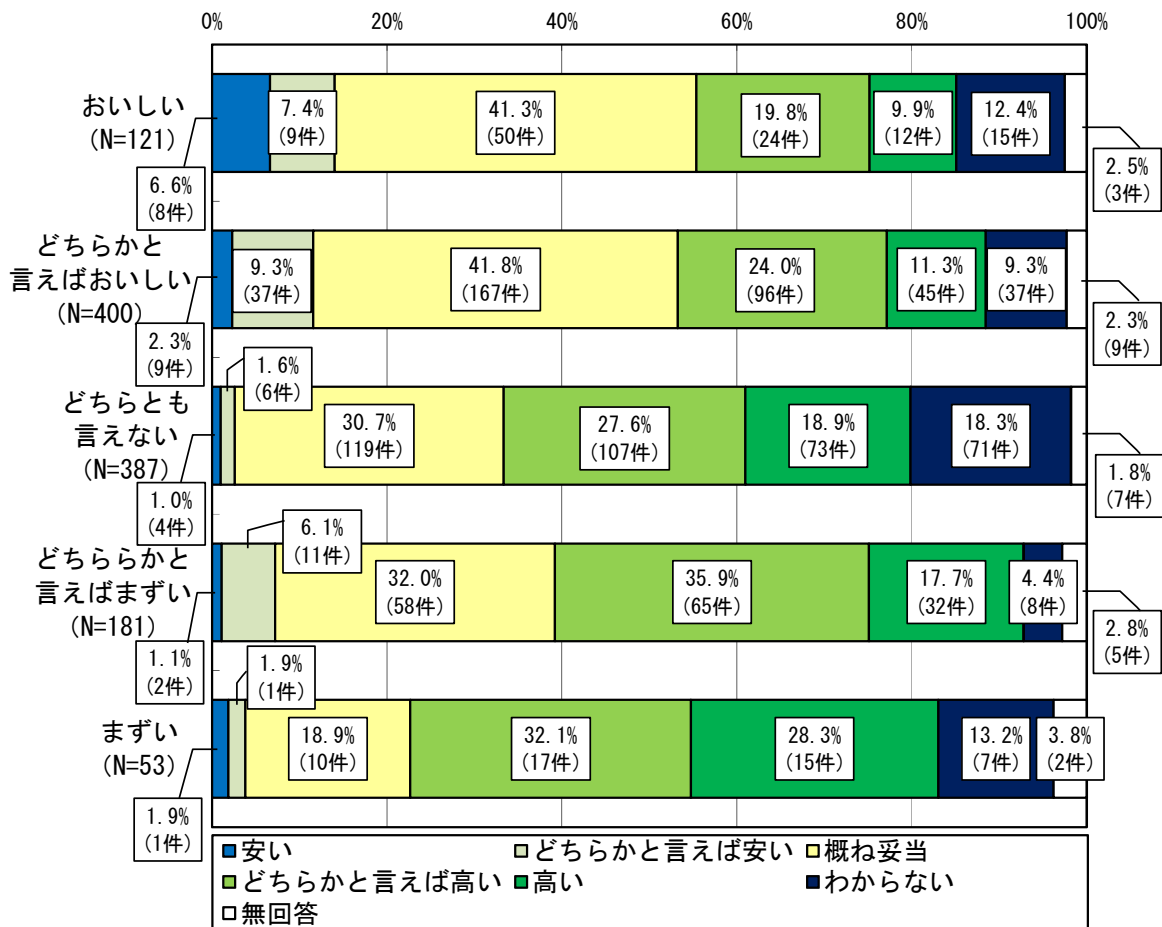
◇ 築年数が新しいほど、あるいは同居人数が多いほど、節水型トイレ等様々な節水機器を使用している傾向にある。

<年代別>



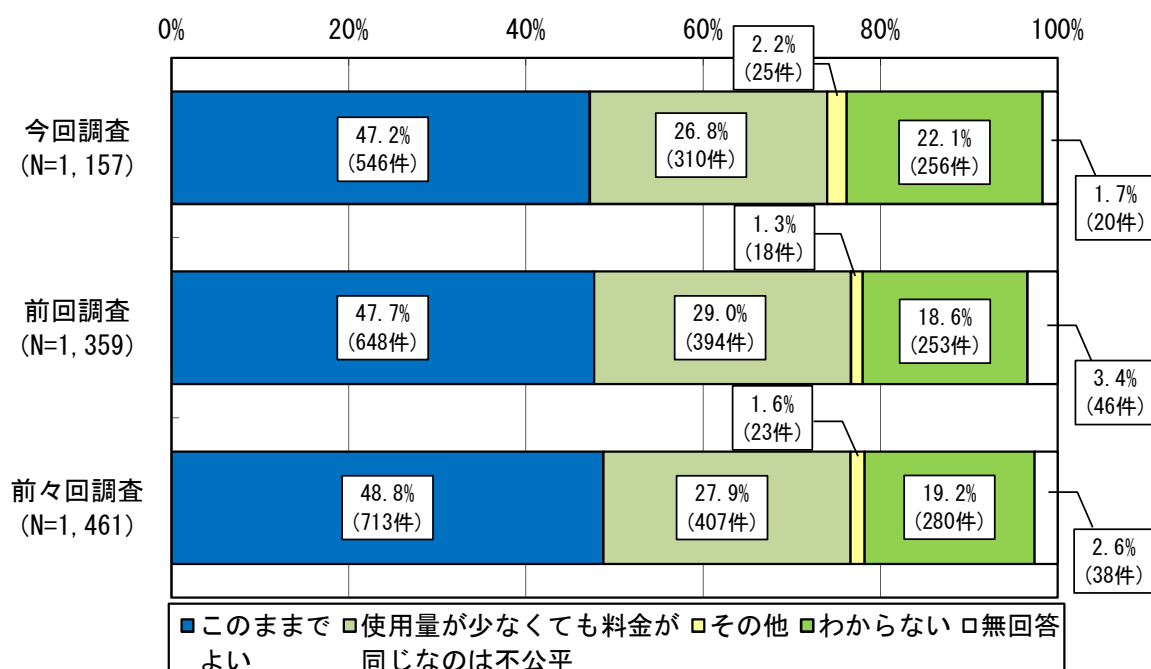
◇ 同居人数が多いため、水を多く使うと想定される30歳代、40歳代で「高い」「どちらかと言えば高い」と回答した人の割合が高くなっている。

<味の評価別>



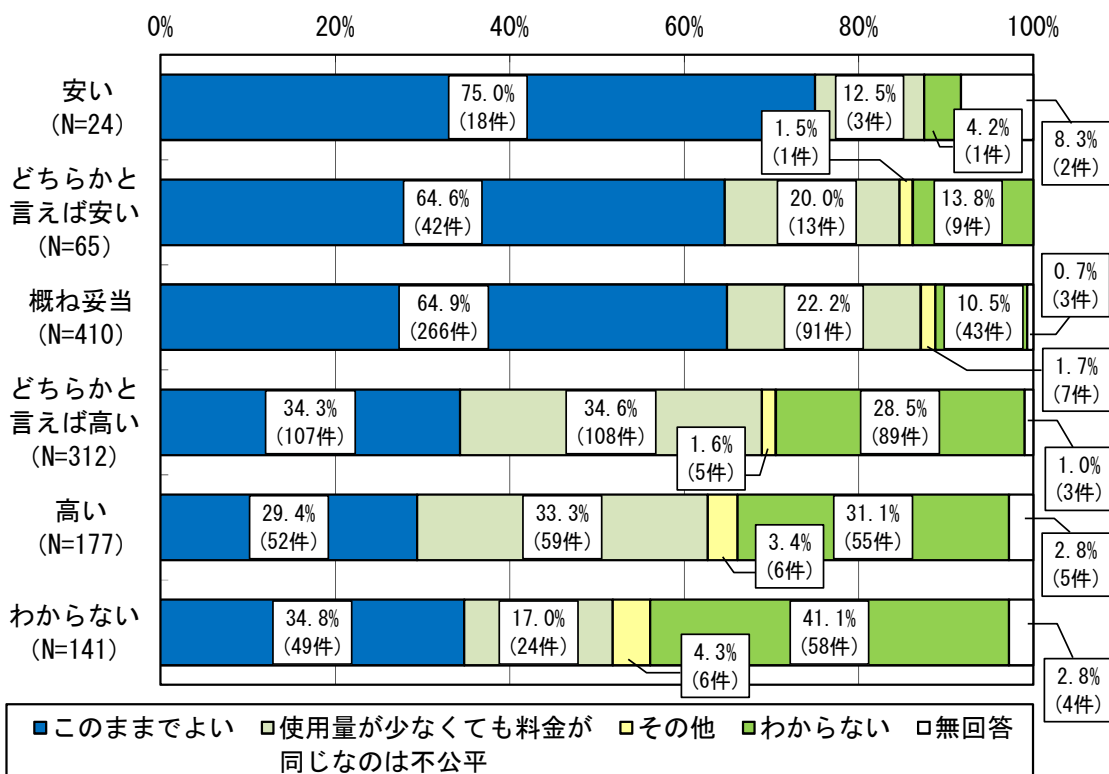
◇ 水道の味について「まずい」「どちらかと言えはまずい」と評価している人ほど、「高い」と回答した割合が高くなっている。

【問 19】あなたは水道の1ヵ月使用量10 m³まで同料金（定額）としていることについて、どう思いますか。＜SA＞



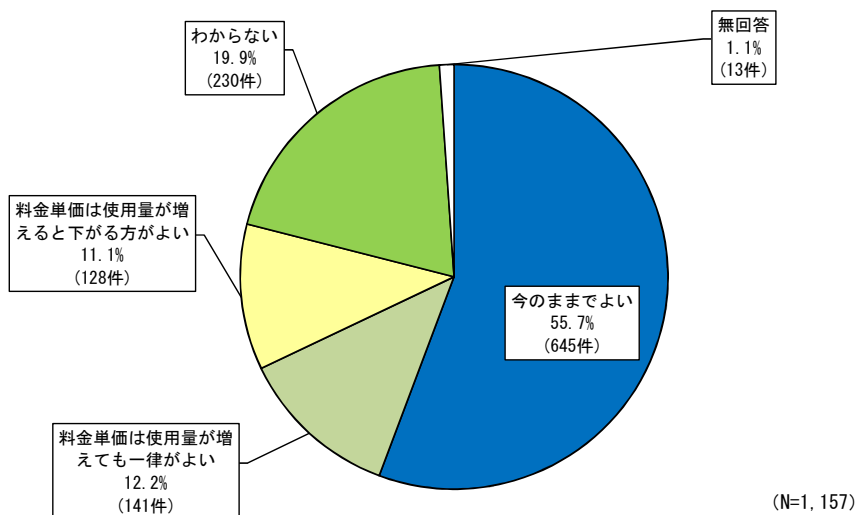
◇ 「このままでよい」と回答した人の割合が47.2%と最も高くなっている。

＜水道料金の負担感別＞



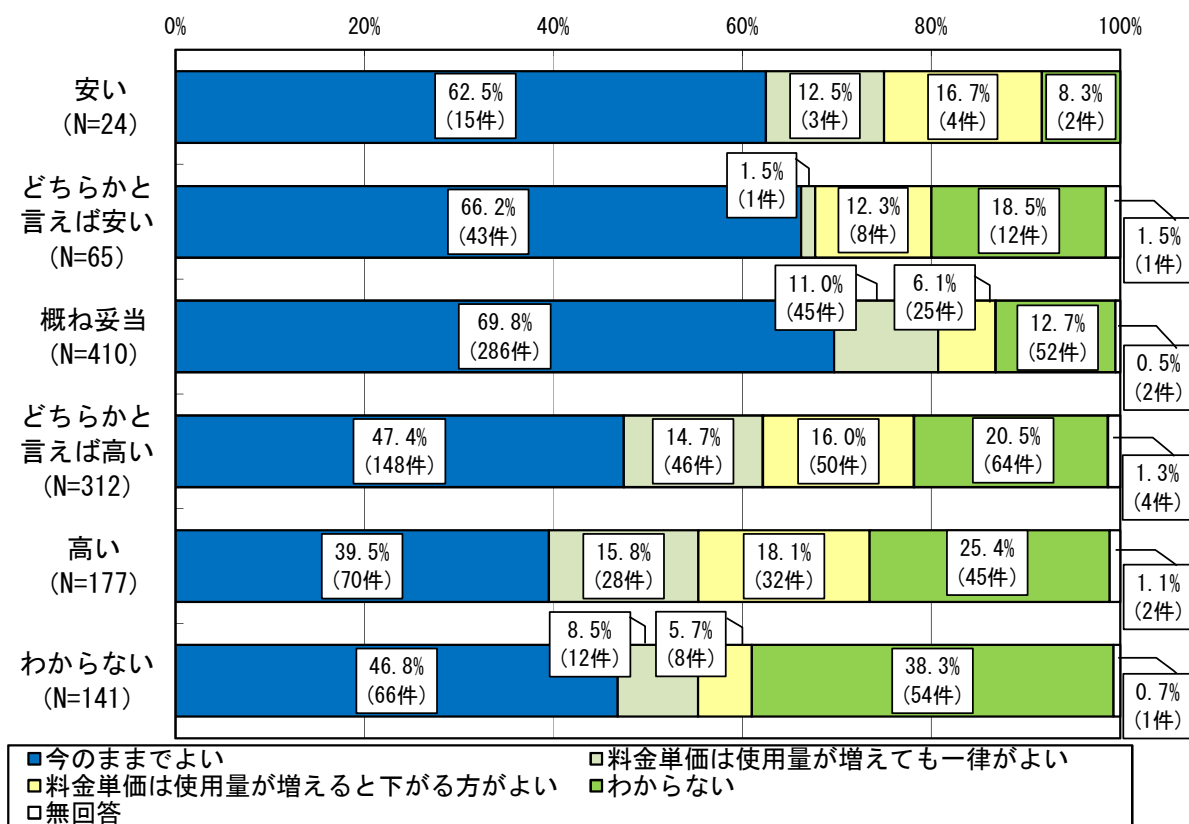
◇ 水道料金について「安い」「どちらかと言えば安い」「概ね妥当」と回答した人においては10 m³まで定額にしていることについて「このままでよい」と回答した割合が高くなっている。

【問 20】 大津市では、使用量が増えるほど料金単価が上がる料金体系になっており、工場など大量に水を使うところでは料金単価が高くなっています。このことについて、あなたはどのように思いますか。 <SA>



◇ 現状の料金体系で良いと考える人が 55.7%と過半数を占めている。

<水道料金の負担感別>

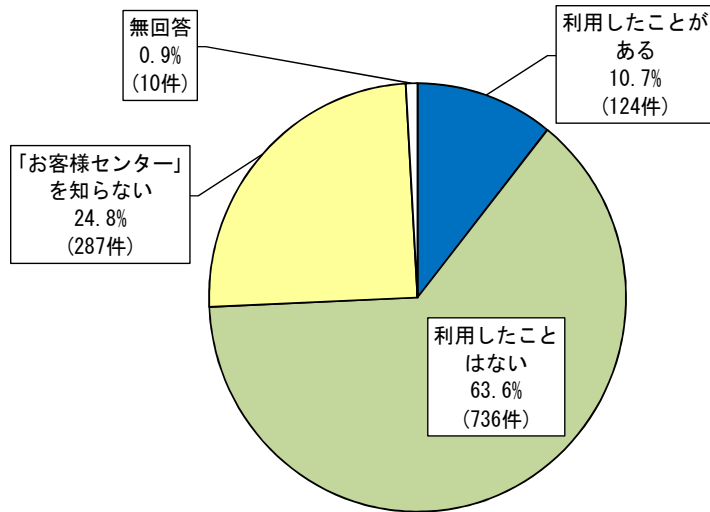


◇ 水道料金の負担感について「安い」「どちらかと言えば安い」「概ね妥当」と回答した人においては、「今のままでよい」と回答した割合が半数を超え高くなっている。

お客様センターについて

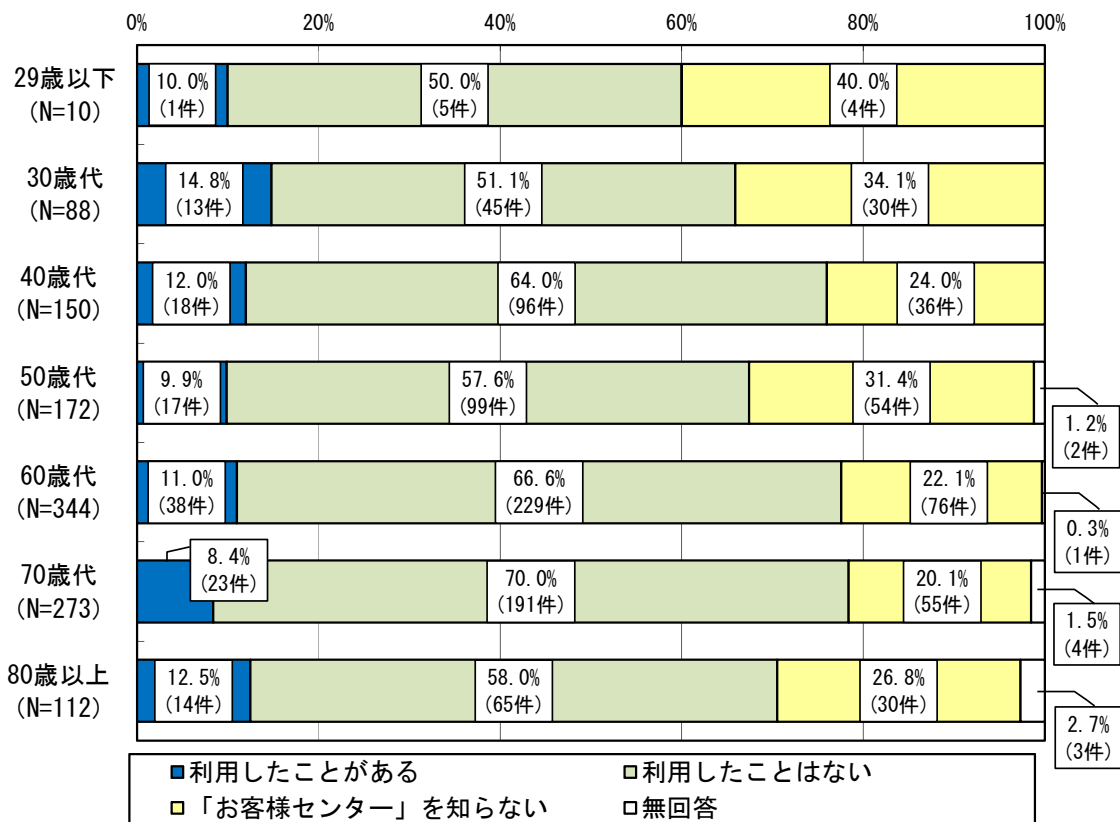
【問 21】 あなたは大津市企業局の「お客様センター」を利用したことがありますか。

<SA>



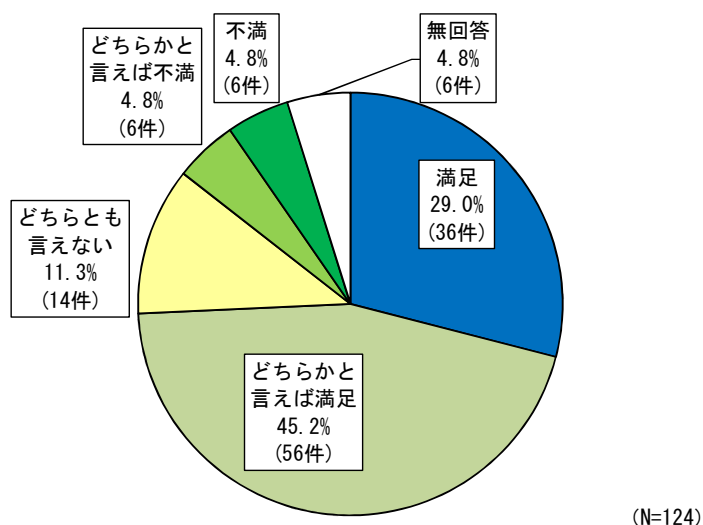
(N=1,157)

◇ お客様センターを「利用したことがある」と回答した人が約1割（10.7%）にとどまっており、知らないと回答した人は24.8%となっている。



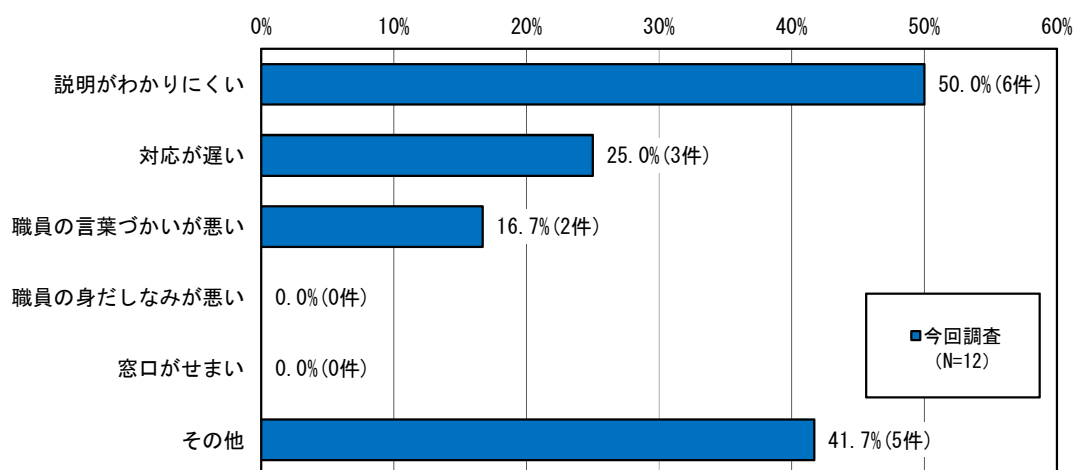
◇ 年代が若いほど、「お客様センターを知らない」と回答した人の割合が多く、年代が高くなるほど、「利用したことはない」と回答した人の割合が多くなる傾向にある。

【問22】問21で「1 利用したことがある」と答えた方におたずねします。あなたはお客様センターのサービスについてどのように感じられましたか。〈SA〉



◇ 「満足」、「どちらかと言えば満足」と回答した人の割合は74.2%と7割超を占めている。

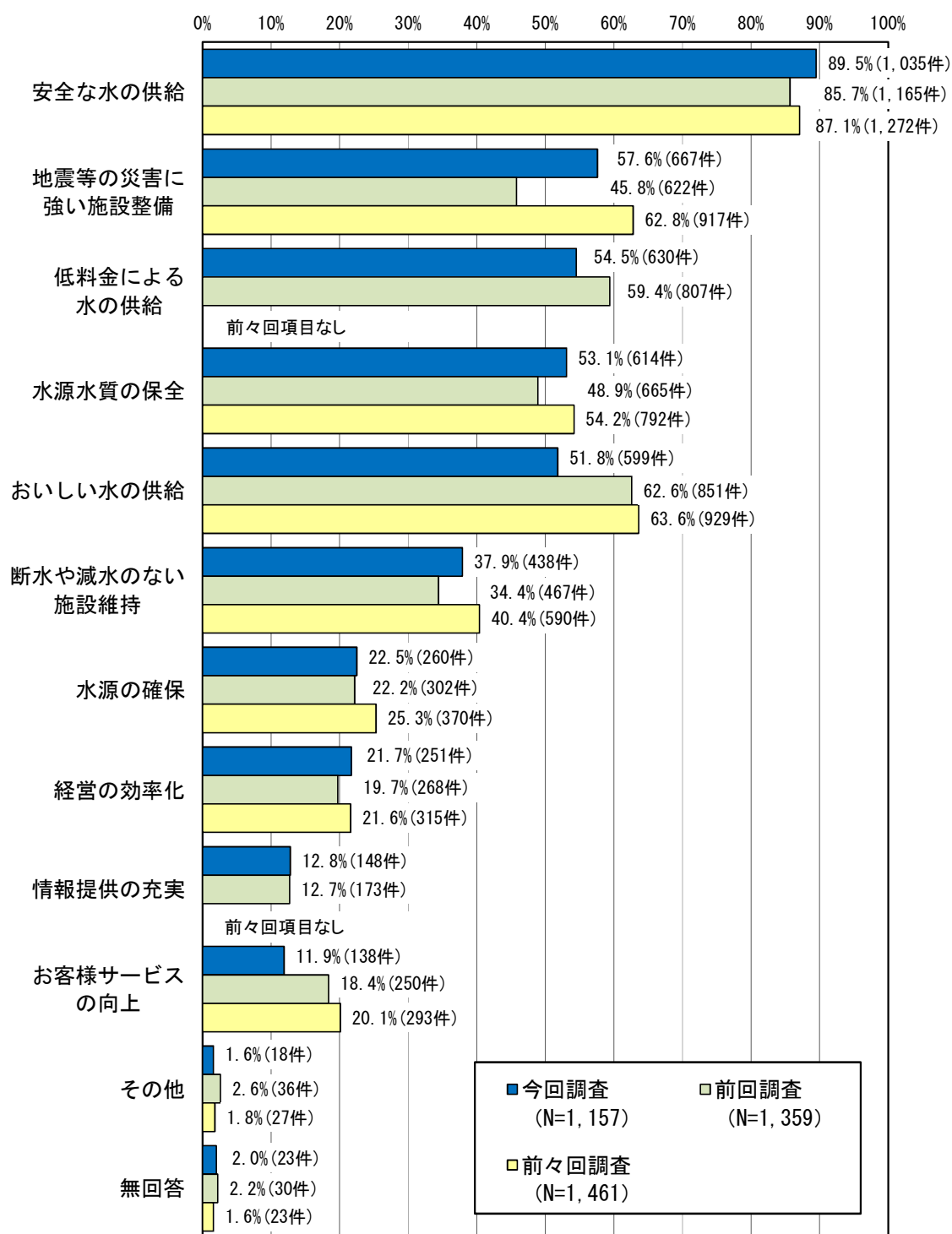
【問23】問22で「3 どちらかと言えば不満」、「4 不満」と答えた方におたずねします。あなたが不満と感じられた理由は何ですか。〈MA〉



◇ 「説明がわかりにくい」と回答した人の割合が50.0%と最も高くなっている。

今後の水道事業の経営と災害対策について

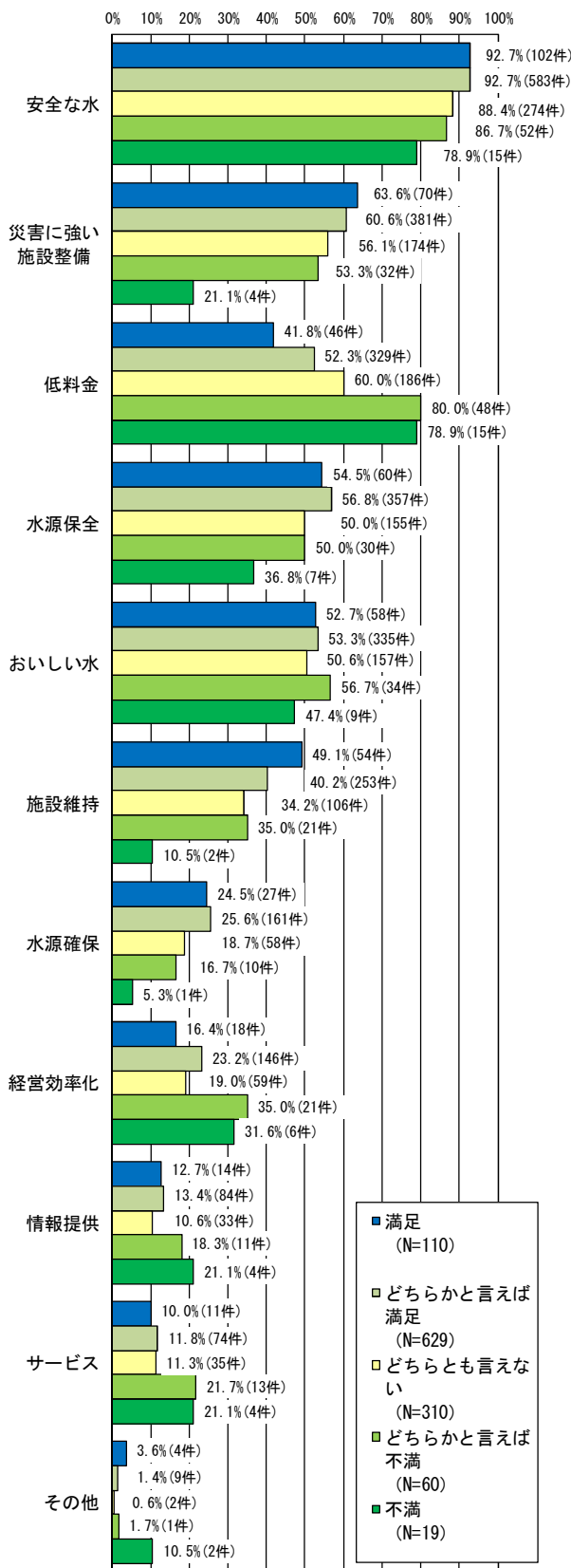
【問 24】あなたが今後の水道事業で特に力を入れてほしい（重要）と思うことは何ですか。＜MA＞



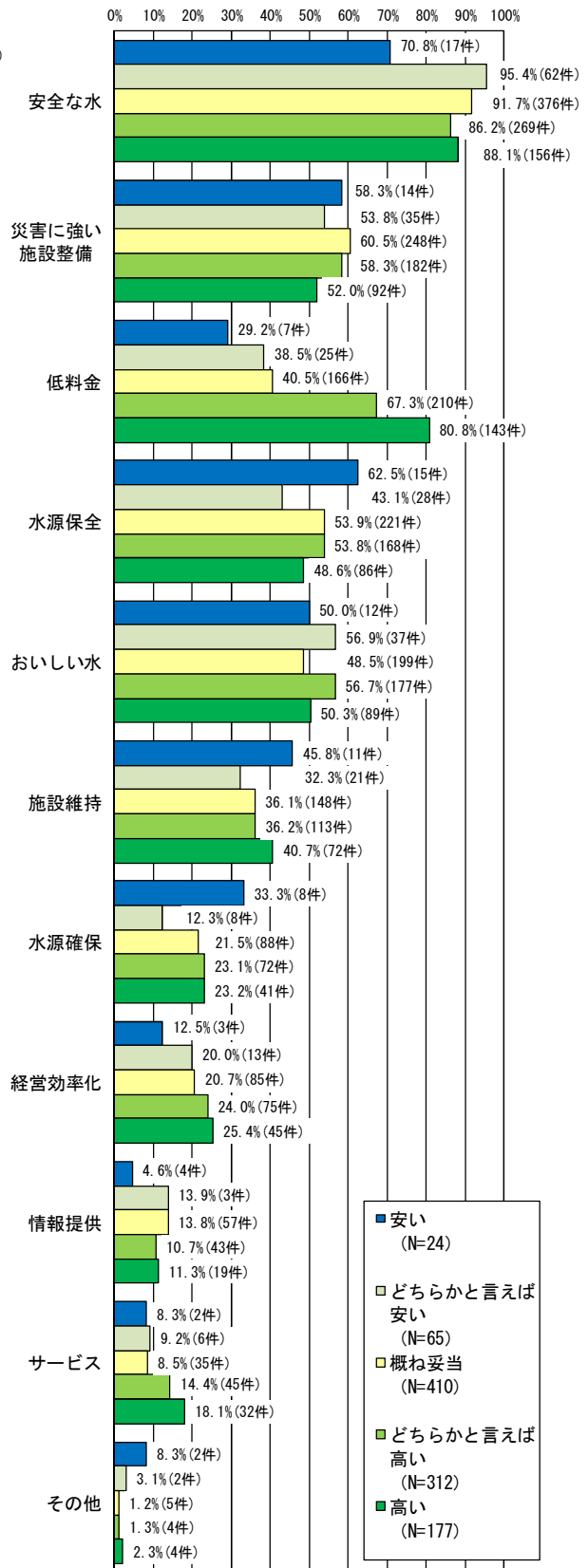
※ 前々回調査では「低料金による水の供給」「情報提供の充実」の項目を設けていない。

- ◇ 「安全な水の供給」と回答した人の割合が89.5%と最も高くなっている。
- ◇ 「地震等の災害に強い施設整備」と回答した人の割合は57.6%と前回調査から11.8ポイント上昇した。

＜水道事業の評価別＞
(水道事業の評価については、問30に結果を記載)

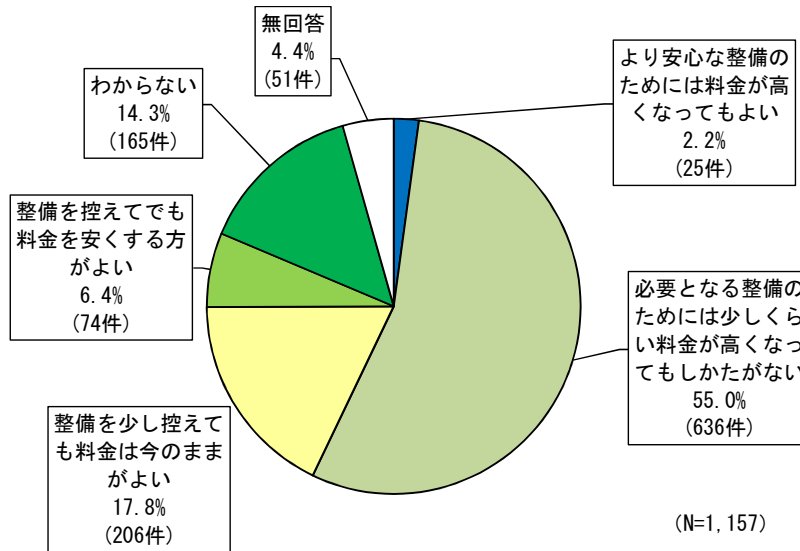


＜水道料金の負担感別＞



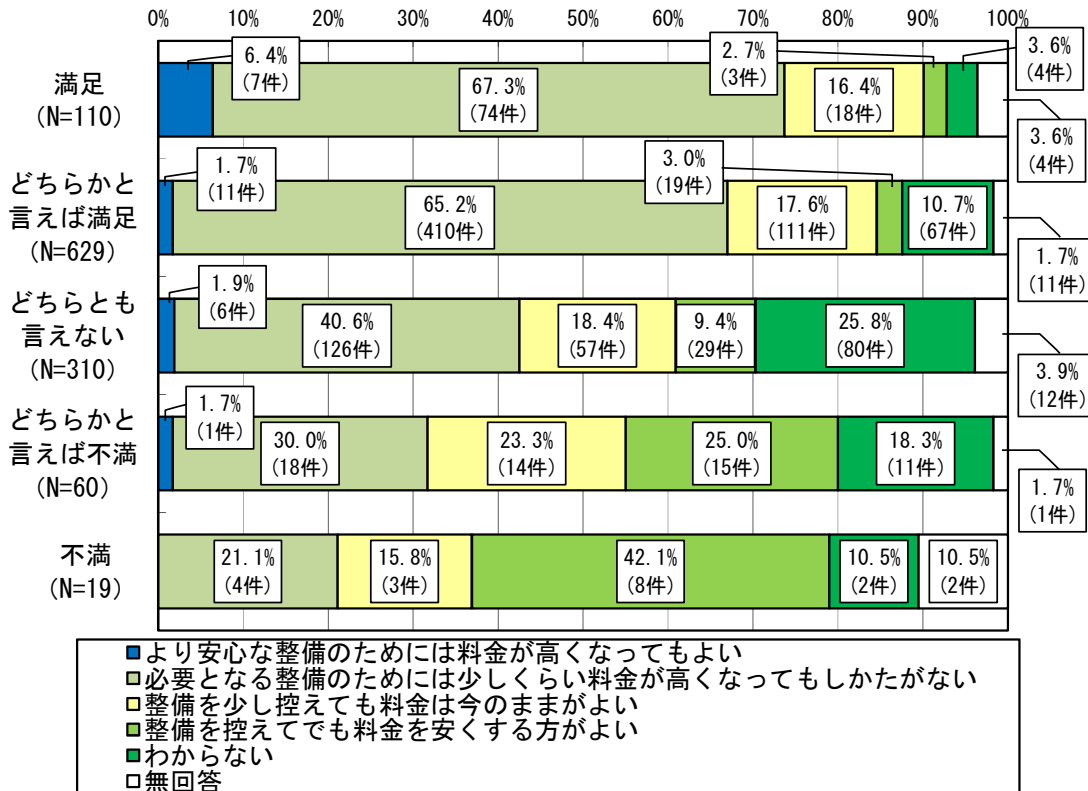
◇ 水道事業に不満を感じている人、あるいは水道料金を高いと感じている人ほど、「低料金」「経営効率化」「情報提供」「サービス」等を重要視している。

【問 25】 企業局では、経費削減等の経営努力を行いながら、安全な水の供給や災害に強い施設の整備を進めています。今後も、これらに取り組んでいきますが、整備に必要な経費の負担について、あなたはどのように思いますか。 <SA>



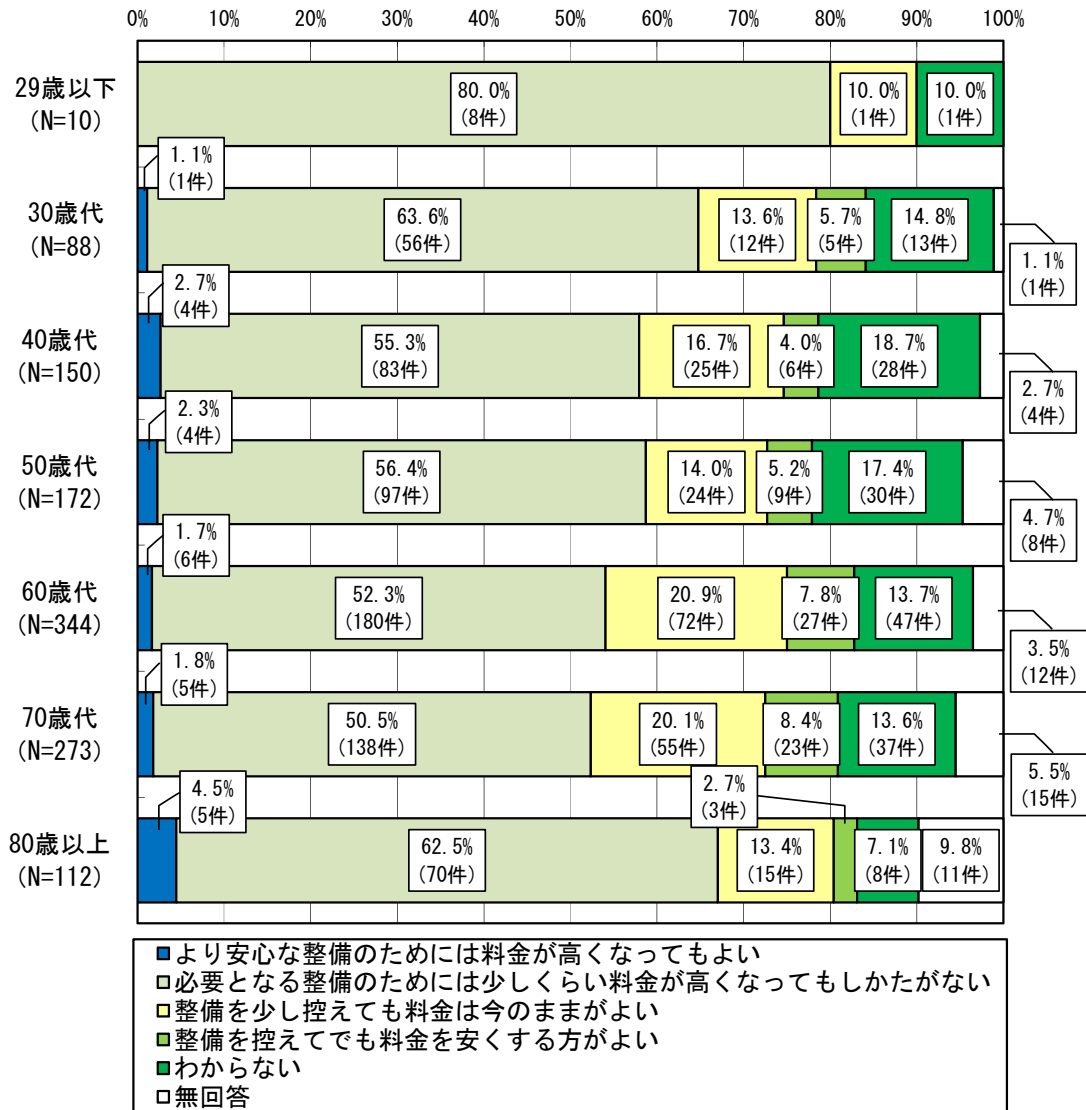
◇ 「より安心な整備のためには料金が高くなってもよい」「必要となる整備のためには少しくらい料金が高くなってもしかたがない」と回答した人の割合は57.2%となっている。

<水道事業の評価別>



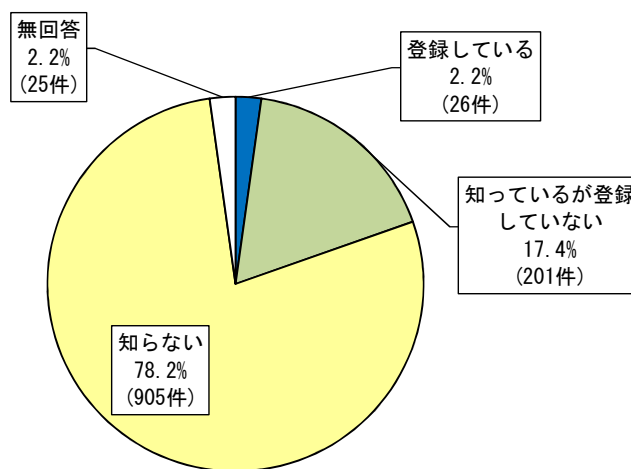
◇ 水道事業について満足している人ほど、施設整備のために料金が高くなってもよいと考える傾向がある。

<年代別>



◇ 年代が若いほど、施設整備のために料金が高くなってよいと考える傾向がある。

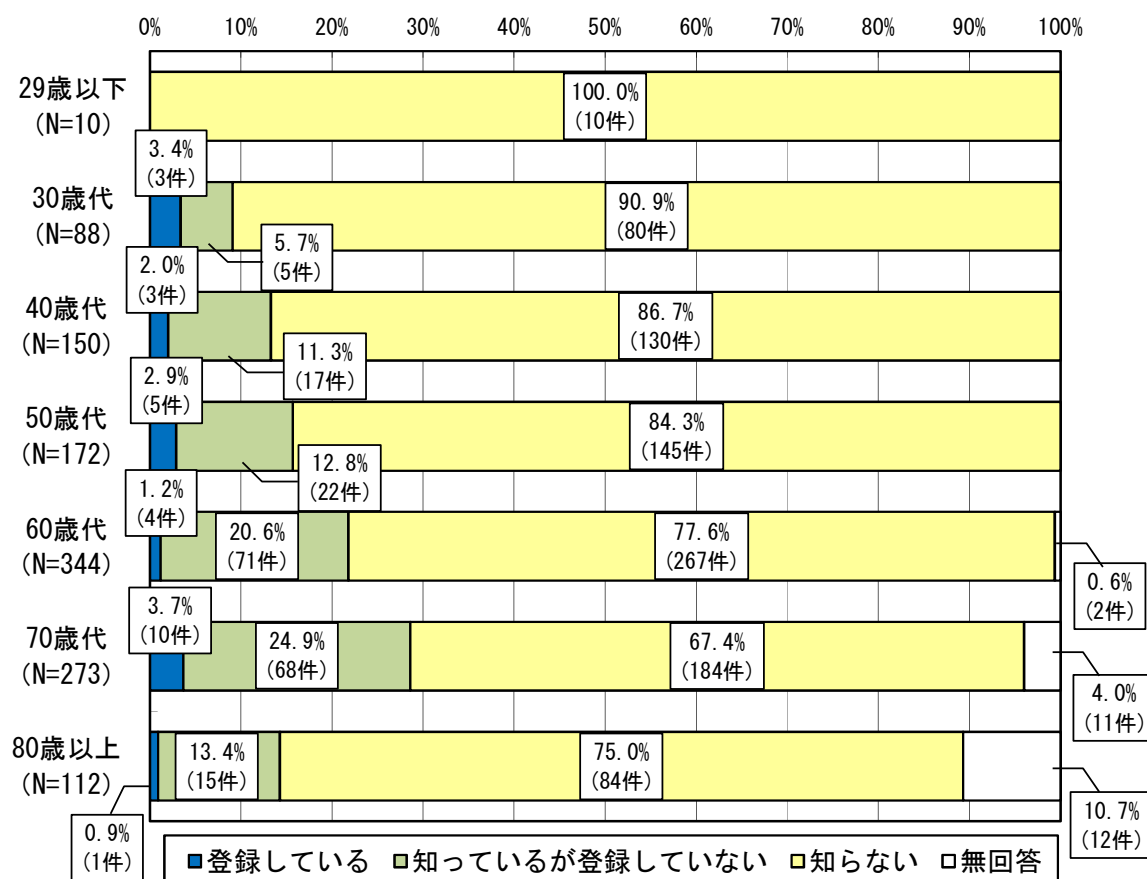
【問 26】あなたは、災害や事故などお客様に影響が及ぶ事案が発生した場合に、上下水道やガス施設についての情報を携帯電話やスマートフォンにメール配信するサービスがあることを知っていますか。〈SA〉



(N=1,157)

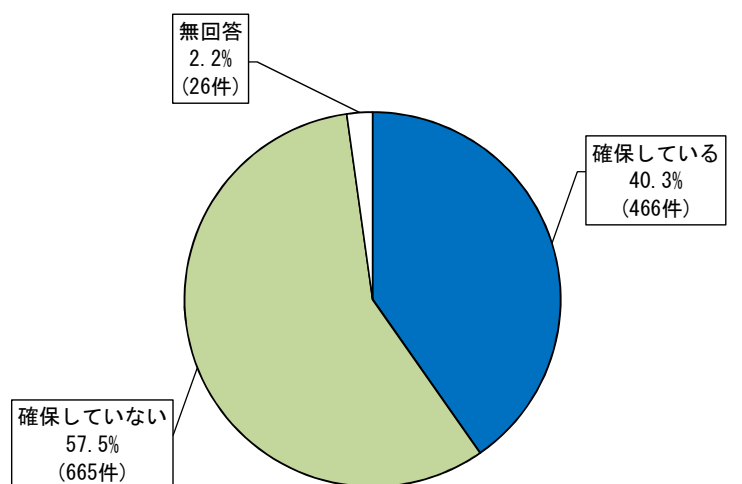
◇ 「知らない」と回答した人が78.2%と8割弱を占めており、「登録している」と回答した人の割合は2.2%と低くなっている。

〈年代別〉



◇ 年代が高いほど、知っていると回答した人の割合が高くなる傾向にある。

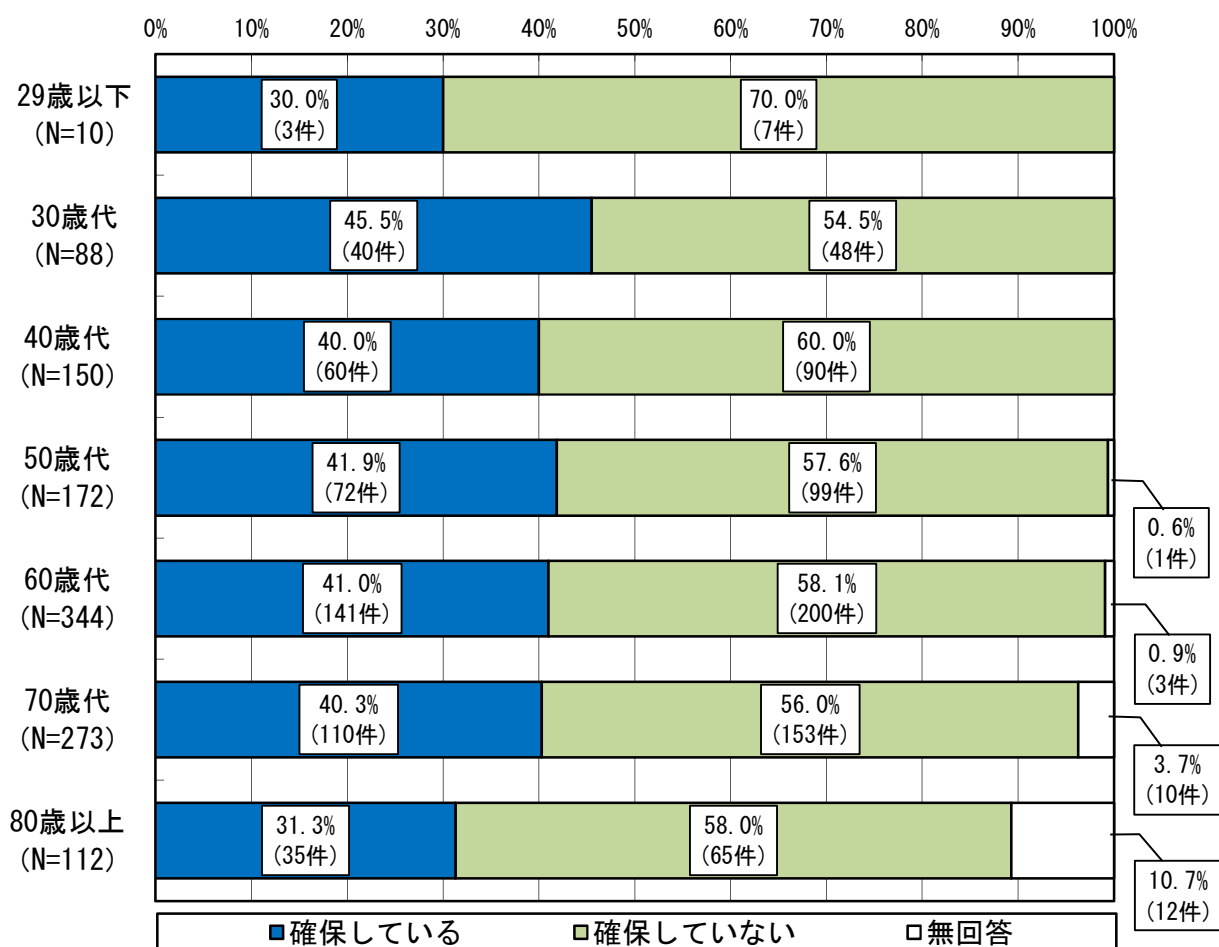
【問 27】あなたの家庭では、日頃から大規模な災害時（風水害、震災等）に備えて「飲料水」を確保していますか。＜SA＞



(N=1,157)

◇ 日頃から大規模災害に備えて「飲料水」を確保している人の割合は40.3%となっている。

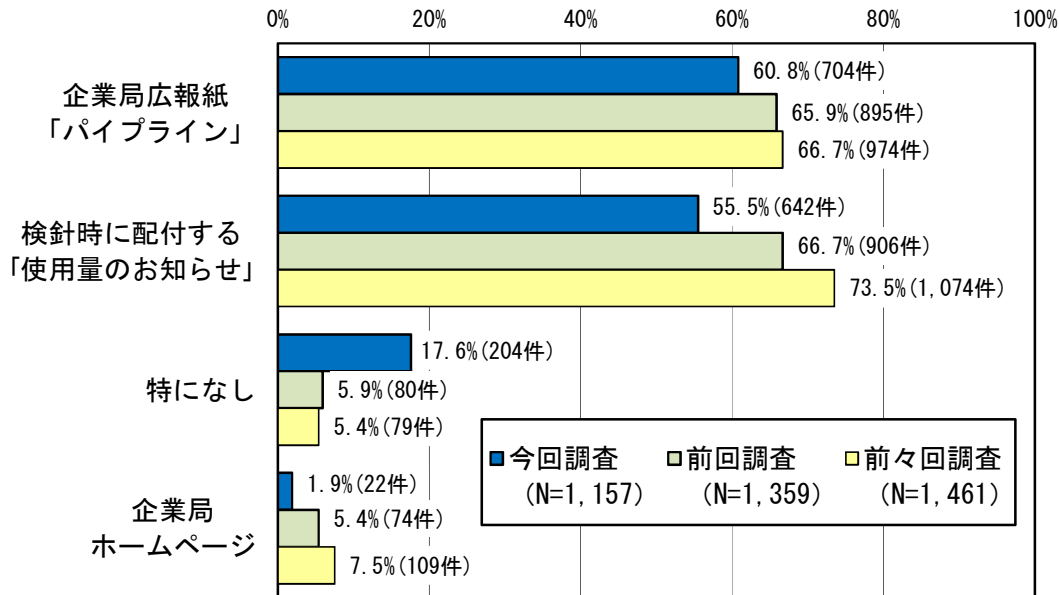
＜年代別＞



◇ どの年代においても、半数以上が「飲料水」を確保していない。

広報活動について

【問 28】 水道事業の情報などをお知らせするもので、あなたが普段読んだり、見たりするものはありますか。 <MA>

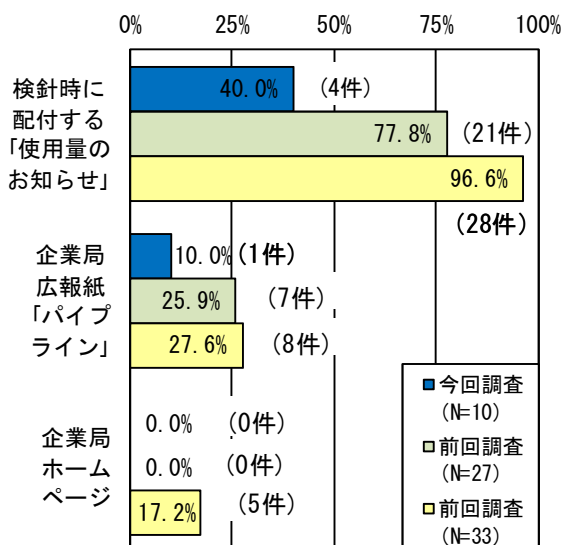


※ 前回、前々回調査では「普段読んだり、見たりするもの」ではなく、「これまで読んだり、見たりしたもの」の回答を求めている。

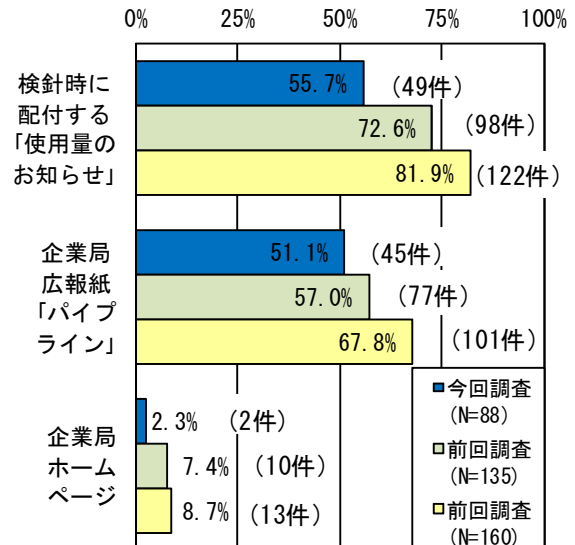
- ◇ 最も使われている媒体は企業局広報紙「パイプライン」で60.8%となっている。
- ◇ 「特になし」と回答した人の割合が17.6%と前回調査から11.7ポイント上昇した。

<年代別>

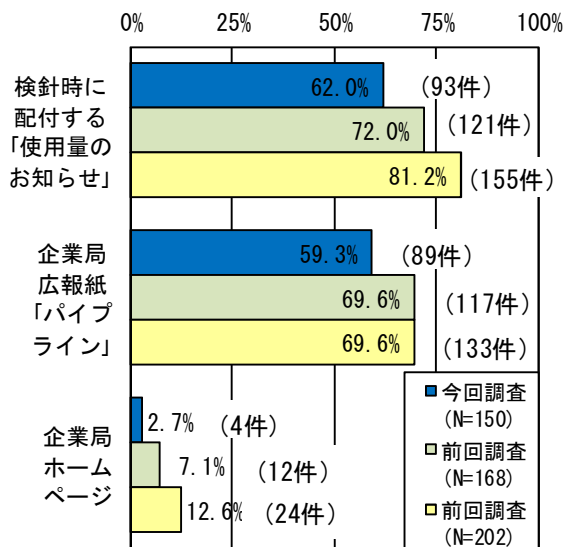
<29歳以下>



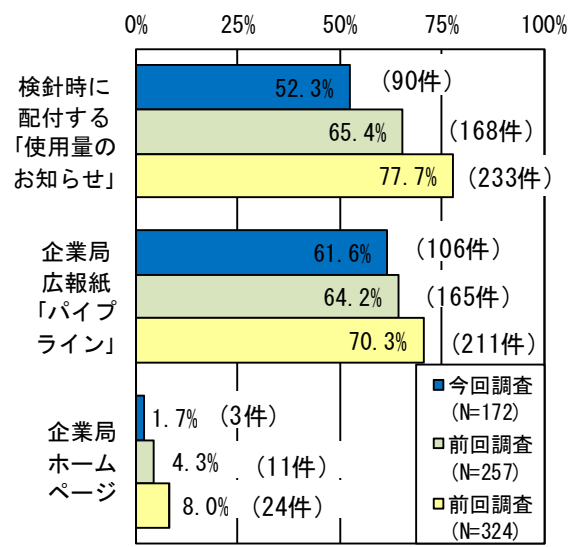
<30歳代>



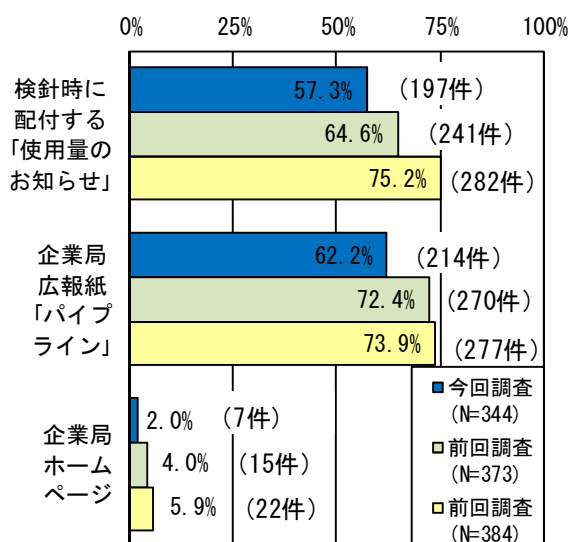
<40歳代>



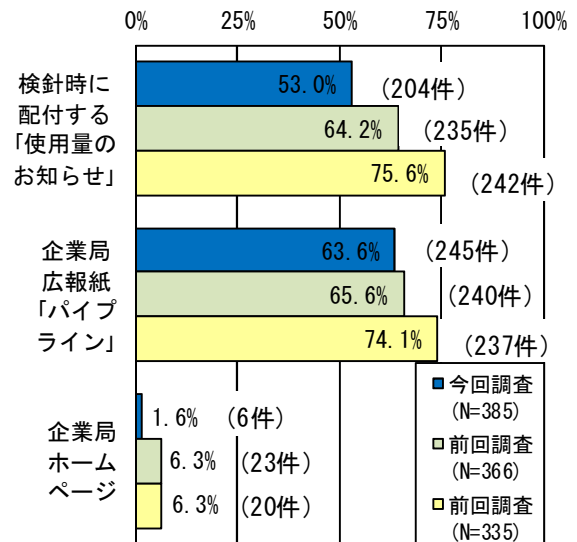
<50歳代>



<60歳代>

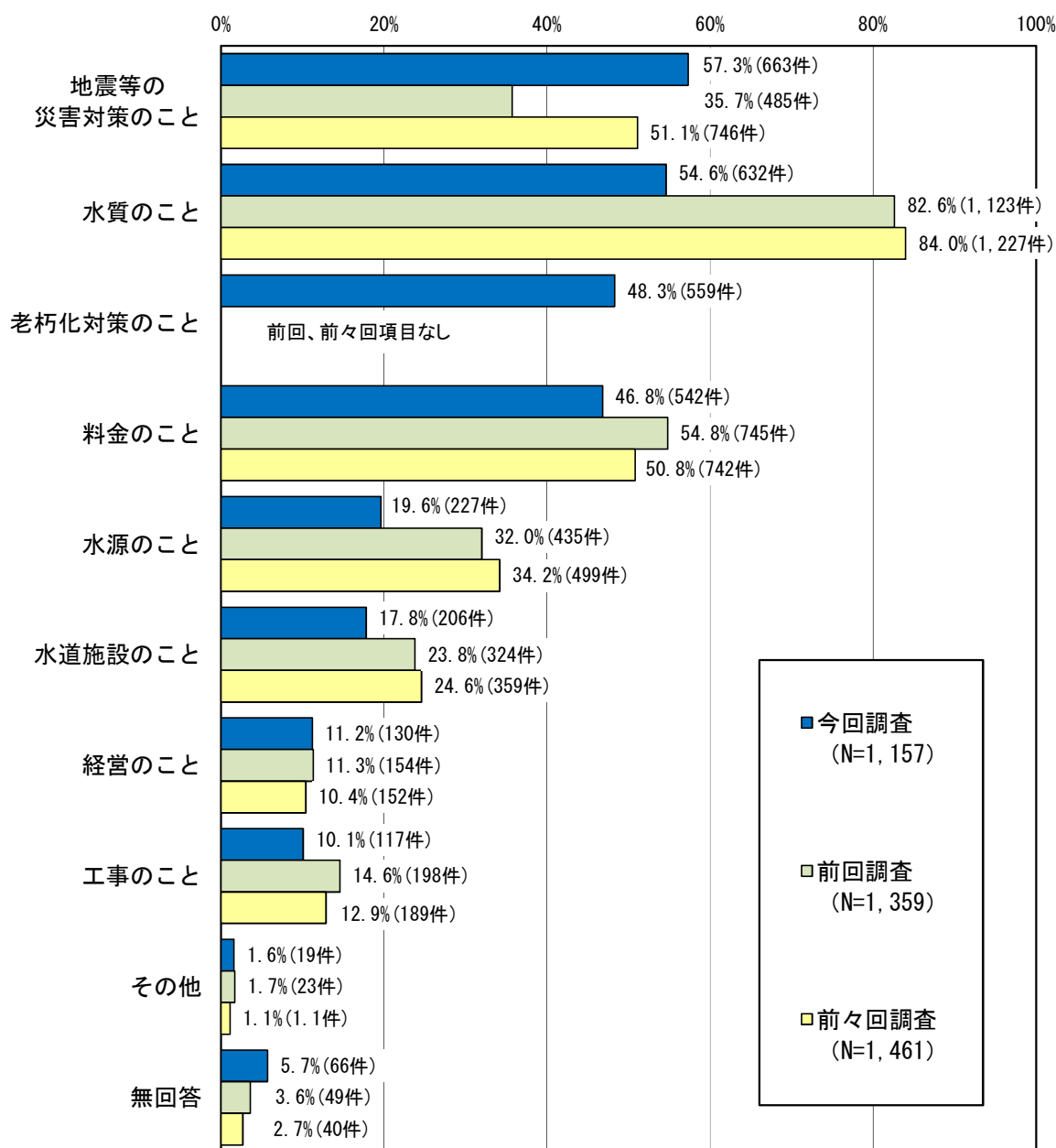


<70歳以上>



- ◇ 40歳代以下では「使用量のお知らせ」と回答する人の割合が高いが、50歳代以上では「パイプライン」と回答する人のほうが高くなっている。
- ◇ 全ての年代で「企業局ホームページ」と回答した人の割合が低くなっている。

【問 29】あなたが今後水道事業について知りたいと思うことは何ですか。〈MA〉

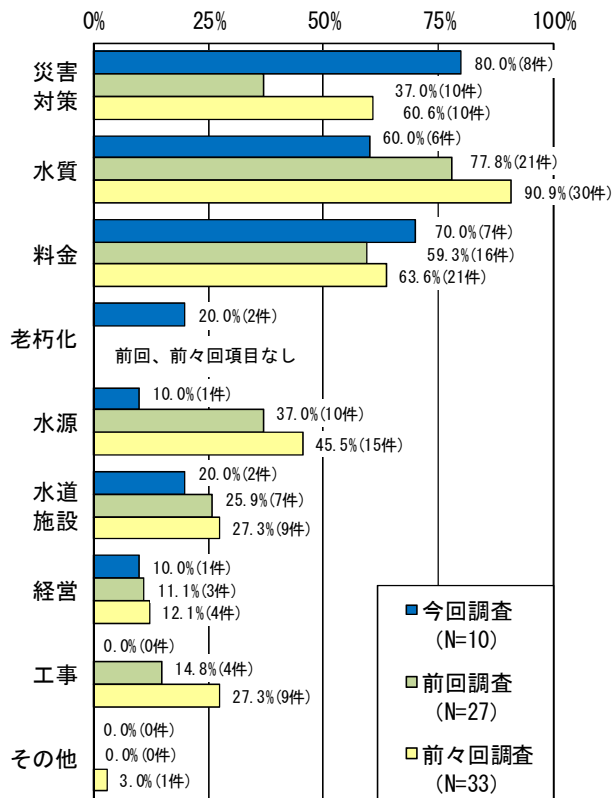


※ 前回、前々回調査では「老朽化対策のこと」の項目は設けていない。

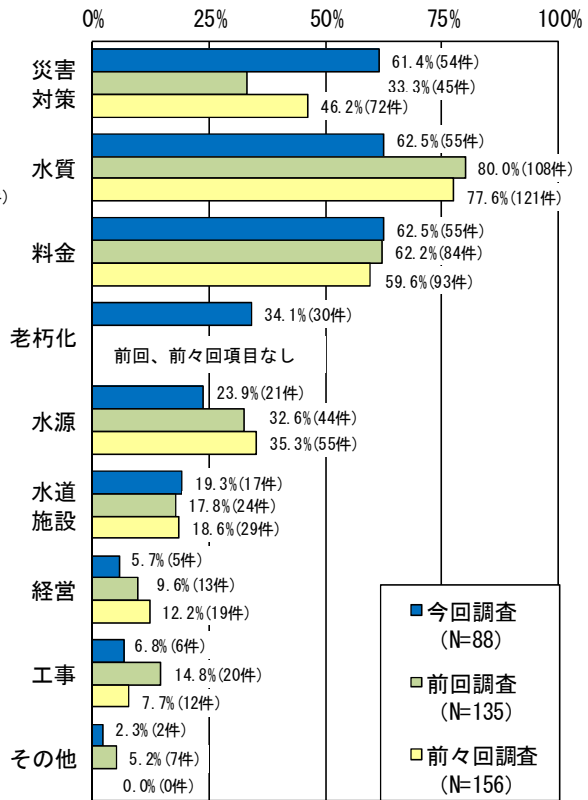
- ◇ 「地震等の災害対策のこと」に関する関心が57.3%と最も高くなっている。
- ◇ 「老朽化対策のこと」に対して約5割（48.3%）の人が関心を寄せている。
- ◇ 「水質のこと」「水源のこと」と回答した人の割合は大幅に低下している。

<年代別>

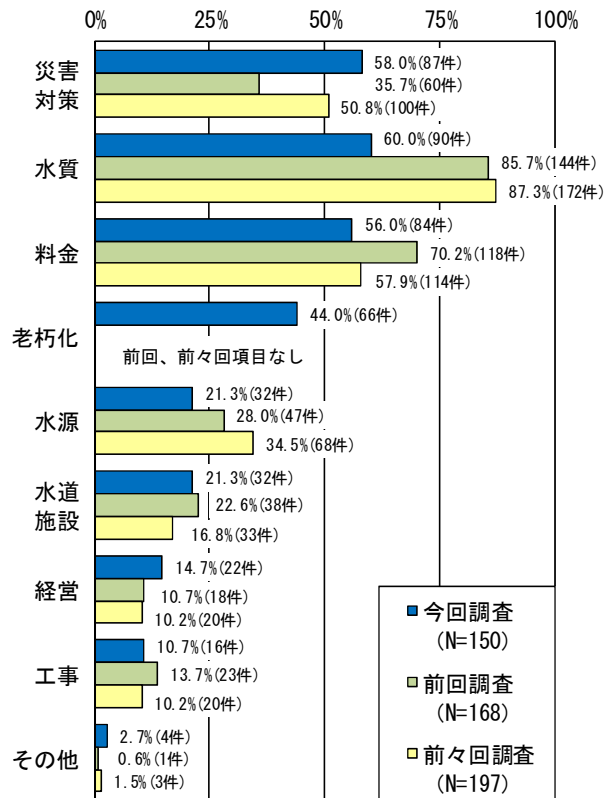
<29歳以下>



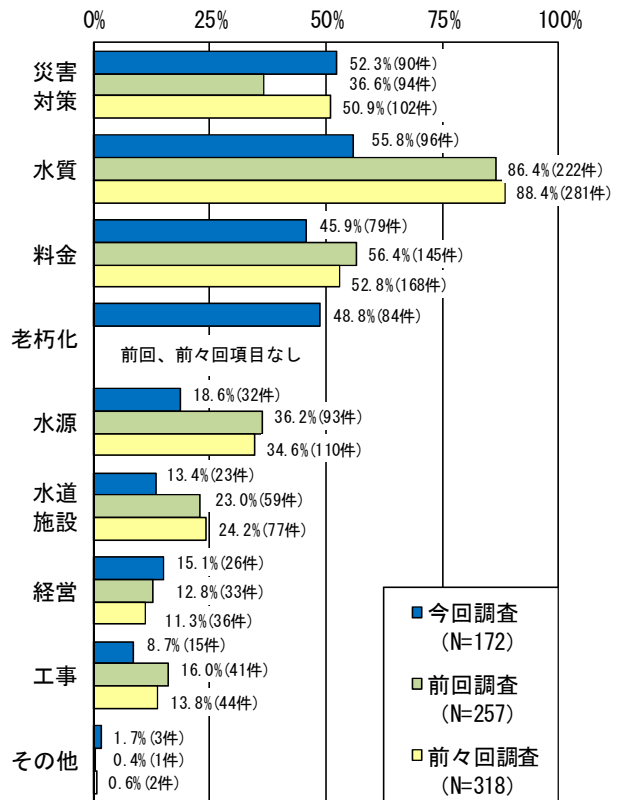
<30歳代>

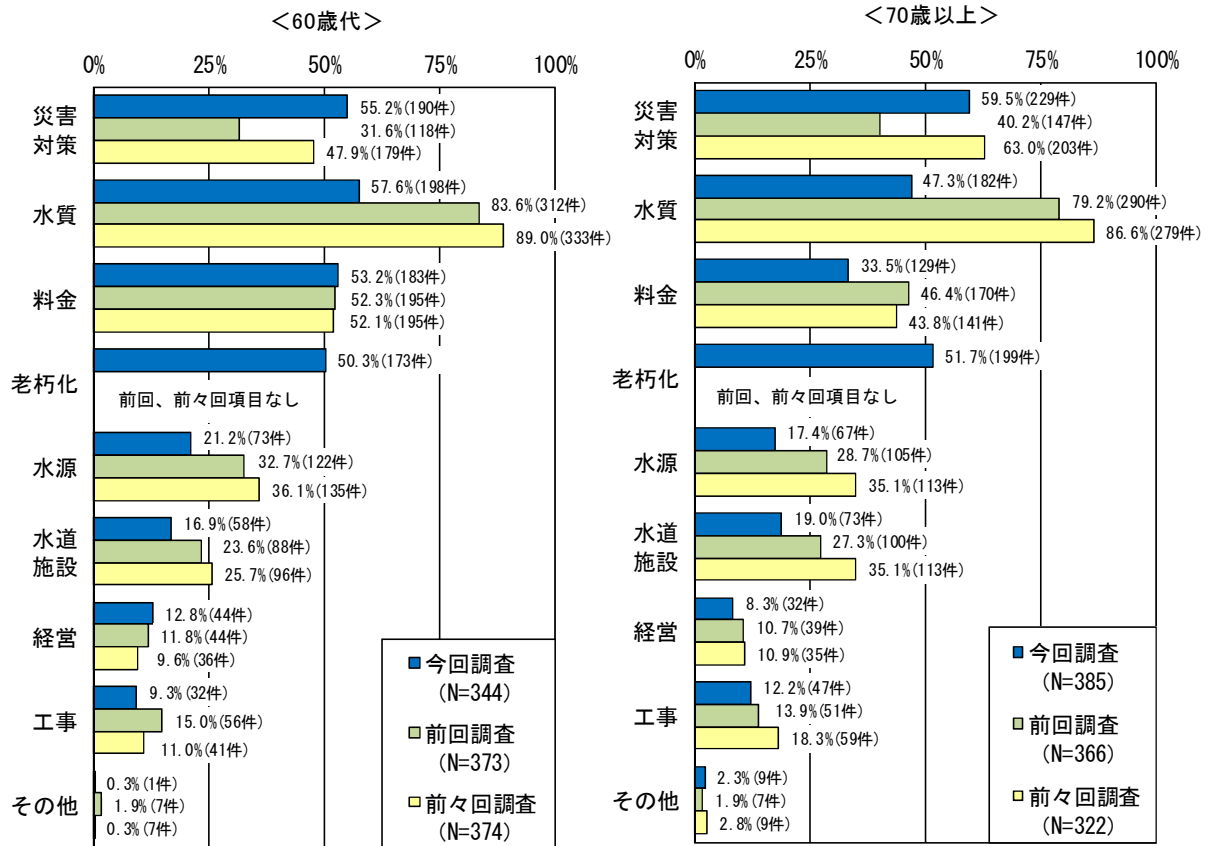


<40歳代>



<50歳代>

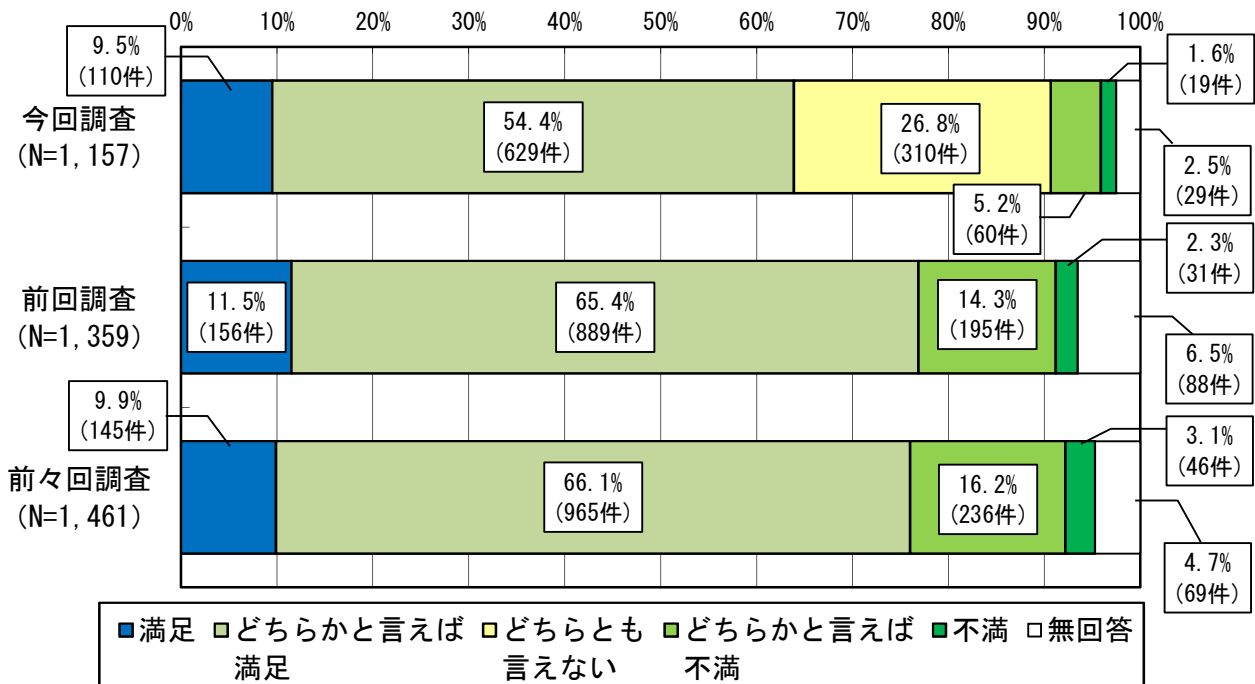




- ◇ 年代が高いほど、「老朽化」に対する関心が高くなっている。
- ◇ 年代が若いほど、「水質」や「料金」に対する関心が高くなっている。

水道事業の総合評価について

【問 30】 ここまで、水質、料金、お客様サービスなどについておたずねしてきましたが、大津市の水道事業を総合的にみて、あなたはごどう思いますか。〈SA〉



※ 前回、前々回調査では「どちらとも言えない」の項目を設けていない。

- ◇ 「満足」「どちらかと言えば満足」と回答した人の割合は63.9%となっている。
- ◇ 「どちらかと言えば不満」「不満」と回答した人の割合は6.8%と1割未満となった。